



ジャパンマスターズ'89の折 代々木ブルにて



総会後の懇親会 於神戸KUC 平成元年5月21日

前田修(34)、堂本直正(30)、上田剛弘(56)、古谷拓裕(主務)、東圭紀(競泳主任)

前田宗雄(32)、松田司朗(32)、岡崎憲之(主将)

石井義章(27)、岡本忠男(17)、犬童部長(特)、小山会長(7)、三宅 林(21)



東京支部総会（平成元年7月21日）



東京支部忘年会（平成元年12月4日）



中山 井上(優) 村田
 中尾 吉元 山口 小沢 宮下 植松 藤本(博) 家門 富村
 片野 藤本(克) 中畑 染谷 小南 城 山崎 是枝
 北岡 寛 戸井 井上(聡) 中川 井上(学) 小笠原 安居 岡崎 当麻 下坂 一越
 枝沢 林 笠田 柴田 青木 東 高岡 金 三宅

目 次

(表紙題字 藤井正太郎先生)

「凌泳七十年史」編集進む	編集委員会	1
： 編集委員会議事報告		1
： 刊行募金についての中間ご報告およびお願い		3
： 資料提供のお願い		4
凌泳スウィーマーズの活躍	昭30 営 田淵 五郎	7
- 日本マスターズ水泳大会で小山会長が世界記録 -		
水泳部が生まれた頃	大10 高 山野元造氏談	8
溝口米寿翁奮泳!!		12
平成元年度 凌泳会総会並びに懇親会		13
： " 月見の宴		14
： " 初泳ぎ		15
支部だより		
： 東京凌泳会 夏季総会	昭30 営 田淵・昭59 経 呉竹	16
： " 忘年会	"	16
： 第1回関東凌泳会ゴルフコンペ		17
： 京阪神地区忘年会	昭27 学 石井 義章	18
会員からのお便り		
： 凌泳会総会案内状返信より		20
： 月見の宴		31
マスターズコーナー		
： 1989年度JMS短水路大会 ●兵庫会場	昭27 学 石井 義章	40
： " ●千葉会場	昭49 農 佐敷 定雄	42
： 89日本マスターズ水泳短水路10傑入賞者		42
： 長距離リレー大会	昭46 理 岩切 博	43
： 事務局交替のご報告	旧 事務局 石井 義章	43

現役部員寄稿

突走れ	-----	主将	当麻尚正	44
目 標	-----	競泳主任	東 圭紀	44
水球への意欲	-----	水球主任	笠田幸介	45
MANAGEMENT	-----	主務	三宅正樹	46
卒部の辞	-----	平成2年卒部者一同		47
現役部員紹介	-----	2回生一同		53
1989年度活動報告	-----			63
現役部員自己ベスト一覧表	-----			82
歴代10傑表	-----			84
凌泳会会則	-----			91
凌泳会役員名簿	-----			94
凌泳会会員名簿	-----			97
「商神」「応援歌」	-----			129
編集後記	-----			134



「凌泳七十年史」編集進む

「凌泳七十年史」編集委員会

編集委員会議事報告

前号凌泳誌でご報告しました通り、元年1月より編集委員会を結成、毎月1回委員会を持ち、刊行に向かって着々準備を進めております。11月には刊行趣意書をまとめ皆様にご案内すると共に刊行資金の拠金をお願いしました。お陰様で募金も順調な滑りだしを見せておりますが、まだまだ目標額には程遠く、今一層のご協力をお願いいたします。

I 編集委員会経過報告

平成元年一年間の編集委員会の活動につき下記の通り概要ご報告申し上げます。

記

1月8日(日) 編集準備委員会発足 於：兵庫県立スポーツセンター

この日恒例の初泳ぎ会があり、終了後、下記5名が残り年史発行について相談。そのまま編集準備委員会を結成、今後定期的に会合を持ち作業に取りかかる事とした。

編集準備委員会委員

石井義章(昭27) 橋本 力(昭30) 堂本 直正(昭30) 佐藤一夫(昭30)

前田 修(昭34)

1月20日(金) 第1回編集準備委員会 於：KUC

編集基本方針協議

2月15日(水) 第2回編集準備委員会 於：KUC

5月発行の凌泳誌に予告文並びに概要報告文掲載。

編集の進め方、スケジュール検討。

佐藤委員ニューヨークへ転任することになったので、委員辞任の申し出あり。代わりに岡田重義(昭37)氏推薦。

2月7日(金)

岡田氏の意向打診。同意を得たので次回委員会で委員委嘱することとする。

3月4日(土)

橋本委員岳父・朽木氏訪問(石井、橋本)、編集、印刷、製本につき意見拝聴。朽木氏は印刷

出版業の経験あり、現在も某機関誌の編集に携わっておられ、貴重な専門的意見を聞かせて頂き、併せて今後も助言、ご協力を頂けるようお願いした。

3月23日(木) 第3回編集委員会 於：KUC

今回より従来の編集準備委員会に三宅 林(昭21)、岡田重義(昭37)両氏を加えて編集委員会に切り替える事とした。

凌泳誌掲載の広報文案作製。 朽木氏会談の内容報告。 年誌体裁の概要協議、決定。

4月11日(火)

前田委員16時より大阪凌霜クラブにおいて平井洋(昭16学)、前田寿(昭16学)両氏に面接取材。

4月13日(木) 第4回編集委員会 於：KUC

凌泳七十年史目次案検討：盛り込む内容審議。 業務分担案検討：各委員の業務分担を決める。

4月～7月頃 前田委員、青谷の池を始め水泳部ゆかりのプールを取材。

4月18日(火)

岡田委員は業務多忙で委員会に出られないとのことで、代わって上田剛弘(昭56)氏に入ってもらふ事となる。

6月6日(火)

川北正喜(大13)氏を石井、前田両委員訪問、青谷当時の活動状況につき取材。

6月15日(水) 第5回編集委員会 於：KUC

橋本委員より編集作業工程説明。 前田委員より川北氏取材報告。

資金計画につき三宅委員より説明。

田淵五郎(昭30)氏を編集委員に加え、関東地区の連絡、取りまとめに当たって貰う。

〔編集委員会構成〕

三宅 林(昭21)、石井義章(昭27)、橋本 力(昭30)、堂本直正(昭30)、

前田 修(昭34)、上田剛弘(昭56)〔東京駐在員〕：田淵五郎(昭30)

7月19日(水) 第6回編集委員会 於：KUC

凌泳誌の発送遅れたが7月上旬には届いた様子。 個別執筆依頼につき検討。

参考資料として「バレー部60年史」検討。

8月18日(金) 第7回編集委員会 於：KUC

三宅委員作製の資金計画(募金案)につき検討。

8月24日(木)

堂本、前田両委員、六甲台プールの現況取材。

9月25日(月)

山野元造(大10)氏を石井、前田両委員訪問、草創期の水泳部につき取材。

9月27日(水) 第8回編集委員会 於:KUC

募金計画に対する会長、両副会長のご意向報告。 資金計画(募金案)再検討。

刊行趣意書、募金目論見書、原稿依頼書、(案)は次回委員会で検討。

石井委員より25日の山野元造氏取材行につき報告。

10月19日(木) 第9回編集委員会 於:KUC

刊行趣意書、募金目論見書、原稿依頼書の文案決定。 原稿依頼状の出し方検討。

11月1日(水) 第10回編集委員会 於:KUC

刊行趣意書、募金目論見書、原稿依頼書の封筒詰め、切手貼り等発送作業。

12月は休会とし、新年は1月11日(木)に第11回編集委員会をもつ事とした。

12月4日(土)

関東支部忘年会の席上、田淵委員より年史のPR並びに原稿執筆依頼。

刊行募金についての間ご報告およびお願い

昨年11月1日にてお願い申し上げました上記の件について、平成2年3月末現在の状況を中間的にご報告申し上げ、既にご協力を頂いた方々にはお礼を申し上げると共に、目標額達成のため今後の絶大なるご協力をお願い致します。

平成2年3月31日現在の募金状況

募金受領総額 ￥1,575,000(282口)

応募者数 86名

1人あたり平均額 約￥18,300

概要は上記の通りであります、お願い申し上げてから5カ月の経過であります。ご承知のとおり募金目標額は350万円でありまして、約45.9%の達成となります。忘れぬうちにと早々にお納め頂いた方々が86名であります、時間的にはまだ余裕がありますので、ここ数カ月中にご応募賜りたくお願い申し上げます。委員会と致しましては何分にも目標額が多額ですので、出来れば早目に目途を立て、不安な場合には再度のご無理をお願いするなど、万全を期したいと思います。

既にお納め頂いた方々には葉書にて領収の旨お伝え致してありますが、念のため紙面をお借りして

下記にご報告させていただきます。あくまでも3月末現在のものでもありますので、その後にお納め下さった方にはよろしくご了承下さるようお願い致します。

区分卒年	ご芳名(敬称略、卒年順)
昭和19年まで	山野元造、川北正喜、三井栄三郎、木村芳雄、北条貞夫、小山賢之助 山田常雄、高島重次郎、板野亀八郎、池谷俊一、古賀克己、小池三郎 大野 整、伊藤英二、太田正元、大西真博、吉野 栄、前田 寿、平井 洋、 岡本慧夫、岡本忠男、富中 暁、古川富貴男 (23名)
昭和20～30年	井川俊夫、山内利男、山崎健吉、三宅 林、小西信次、中崎日出男、 石井義章、中井三郎、浜川広海、今井政一、関山道雄、小原祥男、 田淵五郎、榑原修造、溝口 注、佐藤一夫、堂本直正、橋本 力(18名)
～昭和40年	松田司朗、北村 敏、栄川泰介、前田 修、黒田英雄、井上隆史、萩原 武 竹元忠彬、浅間啓介、武政英幸、山本忠比古、滝沢章三、前田和秀(13名)
～昭和49年	山口幸郎、日野 康、宮部高博、由佐禎男、阿部洋三、井上与志男、井上史朗、 以西吉一、岩切 博、大橋 進、佐敷定雄、長谷川健 (12名)
昭和50年～	瓜生誠二郎、田淵 耕、平石 康、大林良和、星合正子、慈幸弘樹、桑本万里 上田剛弘、亀井尚之、嶋田陽子、金 一波、山本 徹、杉野 誓、久保田勝己、 呉竹正人、浦野敏明、井口恵理、加地 恵、竹本和広 (19名)
準 会 員	後呂陽子 (1名)
	(計86名)

お振込みは、管理の都合により郵便振替に統一していますので、これからの方は、下記口座番号へお願い致します。なお、振替用紙ご入用の方は下記へご連絡ください。

(口座番号) 神戸-3-7490 (加入者名) 凌泳七十年史編集委員会
(連絡先) 神戸市須磨区磯馴町4丁目2-26
三宅 林 (資金担当)
☎ 078-731-4635
(三宅 林記)

資料提供のお願い

別記編集委員会報告の通り年史編集作業は着々進んでおりますが、それに関連し2～3お願いがありますので列記致します。

記

1. 写真提供のお願い

年史を読み易く、楽しく、親しみ易いものにするためには写真を沢山入れたいと思います。古くは敏馬の浜、青谷の池、上筒井のプール、校舎、寮、その他河童仲間の写真等お持ちの方はありませんか。何でもない写真のようでもバックに写ったポスター、通行人の風俗から当時の世相が伺えます。六甲台のプールにしても5メートルの飛込台とスプリングボードを備えた堂々たる姿の、それもできれば米軍が改造する前の創建当時の写真が欲しいのです。

こんなのはあるだろう、誰かが出すだろう、と思われず是非お貸しください。今回の機会を逃せば、もう記録に残せる折は無いと思います。本が出来上がってから、これなら俺のほうにもっと良いのがあったのと言われても手遅れです。ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

尚、写真提供頂く場合は、必ず裏面に氏名、卒業年を明記下さい。また撮影時期、場所、人物の氏名等お書き添え頂ければ幸甚です。

送り先 〒564 吹田市円山町30-4-441

前 田 修

☎ 06-384-4752

2. プログラムその他資料提供のお願い

現在、編集委員会に昭和14年に宝塚プールで開かれた対大阪高商戦第20回大会の記念プログラムが残されています。藤井正太郎顧問、北村五良先生を始め両校OBの寄稿、あるいは「神戸高商日記より」としてこの大会の始まった経緯、その頃の学生の心意気等が生々しく語られています。

このような古い資料をお持ちの方は是非御提供願います。例えば大正13年に上筒井に出来たプールでは、15年から昭和8年まで神戸高商が主催して兵庫県男子中等学校水泳大会を開催したと聞いておりますが、そのプログラムをお持ちの方はございませんか。その他何でも結構です、現物なりコピーなりお送り願います。

送り先 〒564 吹田市円山町30-4-441

前 田 修

☎ 06-384-4752

3. 記録提供のお願い

対大阪高商戦（大阪商大一現・大阪市大戦）及び全日本高商大戦（三商大戦一現・三大学戦）の戦績を整理したいと思います。

前者は、第20・40・50回各記念大会の折り整理されておりますので、その後の追加で済みますがそれでも昭和17・18・21年及び40年は不明（19・20年は中止）、22年は不完全です。

後者に至っては、既に57回を数えますのに記録の整理は一度もされてないようです。新制になっ

でからは各年主将に記録の取りまとめをお願いしておりますので何とか集計出来ると思いますが、旧制時代の記録ご存知の方はご一報願います。

送り先 〒655 神戸市垂水区高丸4-6-20

橋本 力

☎ 078-708-8848

4. 合宿練習の記録について

合宿は水泳部生活の中でも、苦しいにつけ楽しいにつけ特別思い出深いものです。古くは溝口先輩（大13高）の頃、但馬の竹野、紀州の田辺、伊勢の二見浦、丹後の橋立で合宿したと「憶出の記」（昭和40年凌泳誌）に書いておられます。

戦中、戦後は合宿どころでなかったと思いますが、昭和25年には戦後初の合宿を徳島県の鴨島で行いました。ここは前田寿先輩（昭16学）の頃にも合宿された所と聞いております。これら代々のOBの合宿の足跡をまとめたいと思います。簡単な印象記、写真等おつけ頂ければ尚有り難いです。宜しく願いいたします。

送り先 〒536 大阪市城東区今福東3-17-13-812

堂本直正

☎ 06-933-5677

以上

お詫びの言葉

この度の「凌泳七十年史」篇纂に当たり、OB各位に原稿の執筆あるいは資料、写真の提供等再三お願いし申し訳ございませんでした。中にはしつこく感じられた方もおありかと思いますが、これも偏に本年史を何とか立派な物にしたいとの一心から出ましたこと、何卒悪しからず御寛容賜りますようお願い申し上げます。



凌泳スウィマーズの活躍

—日本マスターズ水泳大会で小山会長が世界記録—

(昭30營) 田淵五郎

1989年度日本マスターズ水泳大会が、7月13日から16日まで代々木オリンピックプールで開催された。全国から3,972名が参加するビッグゲームで、今回凌泳チームは老若合計20名が、関東、名古屋、関西から参集する盛況であった。

今年8月にはバンパシフィック水上選手権も同プールで行われ、あのジャネット・エバンス(米)の力泳ぶりをTVでご覧になった人もあったと思う。あの晴れ舞台で公式電子計時で自分のタイムが知らされ、うまくいけば入賞メダルが貰えるというのは、全国スウィマーの夢である。

だからこの日本マスターズの機会に、例えば50メートル自由型だけでも経験して置きたいという人が多くて、この種目だけでも、女子800人、男子1,000人に及び、何と3時間40分もかかる混雑ぶりであった。

凌泳チームの年齢層は、80歳代1名(大会総数20名)、60歳代1名(総数338)、50歳代2名(同673)、40歳代7名(同989)、30歳代1名(同886)、20歳代8名(同945)という構成であった。

平素皆で一緒に練習するチャンスもなく、プールに不自由のため体操とランニングで補った者もあれば、お互いの胴回りや髪の毛を数年ぶりに較べ合うような仲間もいた。それでも、いざ各自の得意種目並びにリレーやメドレーリレーに出場する番には、各々のベストを尽くし、応援し合い、健闘を称え合う様子は、六甲台プール時代の雰囲気そのままであった。

会員制の、設備とコーチの完備した各地スイミングクラブ単位での参加が圧倒的に多い中で、我々のような大学OBの集まりで、しかも20名というのは稀有であり、とくに国公立では珍しい存在である。

さて戦績の中で特筆したいのは、またまた小山会長がマスターズ世界記録で優勝されたことである。80~84歳の部平泳50メートルは、昨年10月、豪州で開催された世界マスターズ大会で自ら樹立された51秒41の世界記録が残っていたのを、81歳近くに



世界新記録の認定証を受けられる小山会長

なって1秒80も縮めて49秒61と堂々更新。同じく100メートルも昨年のご自分の世界記録に挑戦されたが惜しくも及ばず。200メートルにも出場されて合わせて3種目の金メダルを獲得された。

世界記録と簡単にいうけれども、いかに困難なことかは、今大会での世界記録更新者は、女子では竹宇治(旧姓田中)聡子ら元オリンピック級選手4名のみ、男子日本人では小山氏1人だけであったことからお判り頂けよう。

実は米国から5年前のロス五輪のゴールドメダリスト、ローディ・グインズが今回参加し、30~34歳の部50メートル、100メートル自由型とも、華麗な泳ぎで世界記録を樹立したのも今大会の話題の一つであった。

我々凌泳勢としては、嬉しいことに金メダル受賞者があと2人出た。

三宅林先輩(神戸から遠征)が65~69歳の部平泳の50メートル、100メートル2種目に優勝、200メートルに4位という大活躍、若手OBに喝を入れられた。

中堅どころでは佐敷定雄君が35~39歳の部バタフライに39歳の年で奮起、50メートルに優勝、100メートルは2位、その他メドレー及びリレーの中核メンバーとしてタフぶりを発揮した。

最終日の前夜にこの大部分のメンバーでビールで乾杯したのも昔の合宿打ち上げ会のような気分であったし、また来年のための励みとなった。

7月下旬には東京凌霜クラブで、凌泳会東京支部総会の席上、凌霜俳人の平井洋先輩から小山会長に対して 佚老や 傘寿を泳ぎ 世界新 の献句がなされ、また花を添えた。

このあと10月には小山、松田の両氏は、米国インディアナポリスで行われたバンパシフィック・マスターズ大会に遠征された。

今でもお仕事と水泳連盟・マスターズ協会監事などの傍ら、年間20万メートルは泳がれるという小山会長ほどにはいかないまでも、健康と親善と友情のために皆でまた泳ぎ続けるつもりである。

参加者並びに戦績別掲の通り。

水泳部が生まれた頃

(大10高) 山野元造氏談

凌泳七十年史の取材に精力的に取り組んでいる前田修君(昭34理)が、水泳部第1期の部員でただ一人ご健在の山野先輩とコンタクトがとれ、加古川のお宅にお尋ねすることになったと言ってきました。得難い機会だし、一人で聞くより二人のほうが良かろうと、私も同行、70年前の水泳部の様子など貴重なお話を聞かせて頂きましたので、その概要をご報告致します。

先輩は92歳とは思えないお元気で人名、地名、年代、その他いろんな数字まで、実に正確に覚え

ておられるのは驚くばかり。殊に差し出した名刺の住所を眼鏡無しで読まれたのには恐れ入りました。そして、後10年で3世紀を生き抜いた事になるので、それまで頑張るのだと要領としておられました。

山野元造氏 明治30年(1897)7月24日生 (92歳)
大正6年 官立神戸高等商業学校入学
大正10年 同校卒業 (15回生)
訪問日 平成元年9月25日 (加古川市北在家の御自宅にて)
午後2時~3時40分
訪問者 石井義章・前田 修

1. 揺籃期

敏馬の浜

大正6年当時、まだ水泳部という意識はなかった。暮の好きな連中は囲碁部と言い、山の好きな奴は山岳部と称していたが、共に学友会で認められた部ではなかった。野球部、テニス部等は正部であった。

当時、ボート(漕手6人コックス1人計7人乗り)が盛んで、敏馬の海岸に艇



所がこの年、予科2部(注)に入学した白山源三郎(大10高)というのが極東オリンピックに入賞したという噂が伝わってきた。1部と2部はお互いに殆ど交流が無かったが、彼の泳ぎを見て競泳に対する興味も湧いてきた。しかし、競泳の練習をやるには波の高い海は不向きなので学校の近くの「青谷の池」に練習の場を移し、次第に部らしいまとまりが出てきた。

(注) 旧高商は予科1年、本科3年の4年制で、予科は1部と2部とに分かれていた。1部は中学出を、2部は商業出で構成した。両者は入試問題も異なり、授業内容も、前者には簿記、算盤があるのに対して、後者には物理、化学等があり、両者の学力の均衡を計った。白山氏は京都二商、山野氏は姫路中学の出身である。

庫があり、友団対抗のボートレースがよく行われた。漕いだ後は海で泳いだりして遊んだものだ。

当時、試験は3月と9月の2回だったので、夏の間はのんびりやっていた。そのうち水泳の好きな連中が集まってきた。しかしこの頃の水泳は遠泳が主で、琵琶湖の横断をしたり、須磨から明石まで泳いだりした。

青谷の池

青谷には大小幾つかの池があった。その一つを練習場にした。池の中に杭を打ち、堤から板（港で舁荷役をするときに使うような幅30cm、長さ3m程の板だ）を渡し、足場にして飛び込んだ。板がしなるので飛び込みにくかったが、慣れてくると反動を利用して高く飛んだりして結構面白かった。また、水球のまね事もやった。時間的には水球をやってる方が長かったように思う。何れにしても遊びのような物だった。

この池は高商の独占で、地元の人も泳ぎに来なかった。時には4~50人も泳いでいたが、狭いようには感じなかった。関西学院がすぐ近くにあったが、彼らは別の池で泳いでいた。一緒に練習した覚えはない。

泳いだ後は青谷温泉に入って暖まって帰ったりした事もある。

青谷の池の所在については確かな記憶はないが、後年その埋立てたところに、沖豊治君（兼松の社長）が住んでいた。彼とは基友達で、或る日暮を打っていて遅くなり泊めてもらった。ところでここは何処だと聞くと、「昔君らが泳いでいた池を埋め立てたところだ」と答えたから、彼の家を捜せばすぐ分かる。

2. 黎明期

大正7年には野田曾一（大11高）が入学した。彼も中々の名手で、大正9年、伊豆の戸田で開かれた東大主催の全国競泳会に白山と共に出場、50米に31秒2で堂々優勝した。こうして次第に水泳部らしい形を整えてくると共に、対外試合をやってみようと言うことになった。

大阪の茨木中学はプールがあり強い選手がいるというので戦いを挑んだ、見事に負けてしまった。自分もプールが欲しいと思ったが実現しなかった。恐らく部として認められていなかったので、金が出なかったんだろう。

この後、更に相手を求め大阪市立高商とやることになった。日紡の社長の息子の菊池さんというのが大阪市立高商で水泳をやっていると聞いてきて、誰かが連絡を取ったらしい。これには勝って面目をほどした。

（注）日紡=大日本紡績 → ニチポー → ユニチカ

当時の社長=菊池恭三氏

3. 水泳部の人々

水泳仲間が部の形をとり始めたのは、白山の極東オリンピックの入賞が刺激となったことは間違いない。彼がいなければ部の結成はもっと遅れていただろう。白山の泳ぎは「片抜き手」（俗にチ

ンバ抜き手)であった。彼は自らトラジオンだといっていた。

それに白山は水泳普及にも熱心であり弁もたつた。或る夏、山陰海岸の竹野へ水泳部仲間で泳ぎに行ったことがある。宿屋に泊り10日程いたと思うが、合間をみて白山は近くの小学校に行き、講堂に生徒を集めて水泳の演説をしていた。彼は自分が泳ぐだけでなく、水泳普及にも貢献した。

小笠原房雄(大10高)は広島中学の出身で対外折衝に才があった。竹野で小学生を集め白山に話をさせたのも彼ではないかと思う。短艇部にも所属し、コックスをやっていた。

同じく広島中学出身でもう一人、天野俊一(大10高)がいた。彼と私は共に第二外国語が支那語だったので特に親しかった。この二人に引っ張られて広中1年後輩の野田が入ったのではないかと思う。

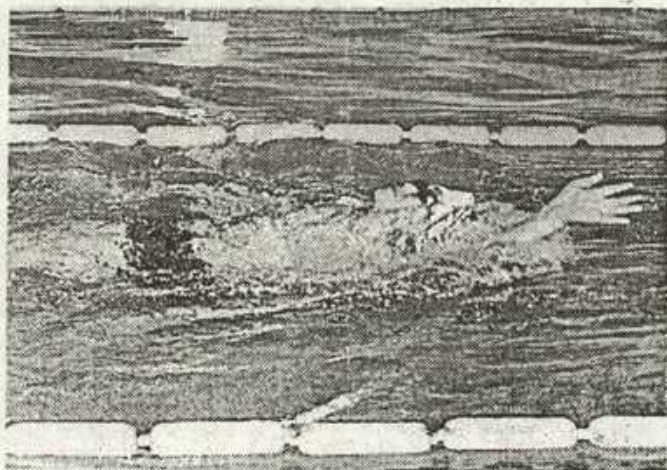
同期にもう一人、中村精一(大10高)がいる。彼は大阪の天王寺中学の出身だった。

以上



県北又大

健在!!88歳のスイマー



ファイト満々、元気に力泳の溝口卓郎さん

「働いていた間は中断、六十年ぶりの水泳だった。これからは練習を続け、二年後はマスターズの大会を目指したい」。年齢を感じさせない若々しきで、記録への挑戦を遂げている。

「クラブの会員になってから、若いころから好きだった水泳を再び始めた。一日に三十分程度プールに入り、平泳ぎなどで三百ほど流すのを目標にしていた。今回の記録挑戦は同クラブで記録会があったのを機会に自分の体力へ挑んだ。プールサイドから知人たちの声援を受けながら、溝口さんは三種目を次々にこなした。自由形は30秒96、背泳ぎは37秒46、平泳ぎは39秒46(ともに二十分)のタイムだった。

60年ぶり
練習再開、記録に挑戦

90歳でマスターズに

中津

八十八歳になつたオールドスイマーにはいさぎよく不満のないイマーが十五日、中津市内のプールで、マスターズ大会にほぞひ出場自由形と平泳ぎ、背泳ぎの三種目の記録に挑戦した。練習を始めてまだ一月余り、夕この人は市内中央町二丁目の溝口卓郎さん。旧大分中、旧制神戸商商時代に水泳部で活躍、商社に入社後は水泳から遠ざかっていた。一昨年、中津市に移り住み、健康保持のため今年九月に市内のスポ

- 【中津支社】 0979-22-03 FAX 22-78
- 【宇佐支社】 0978-32-02
- 【南田支社】 0978-24-33
- 【国東支社】 0978-72-02
- 【臼田支社】 0973-23-23 FAX 22-15
- 【玖珠支社】 09737-2-03
- 【姫島通信部】 0978-87-20
- 【国見通信部】 0978-82-00

溝口米寿翁奮泳!!

溝口先輩(大13高)よりお手紙を頂きました。健康維持のため泳いでいる、参考にしたいのでマスターズの85+、90+の記録を知らせて欲しいとのこと。そのお元気に驚きつつ、早速手もとの資料から書き写し(と言ってもさすがにこの年代になると殆ど記録はありませんが)、併せて9月に山野元造先輩(大10高)を訪問した折りの録音テープ、写真等をお送りしました。

数日してテープの返却と共に送られてきたのが上掲の新聞記事です。地元のスポーツクラブで行われた記録会の様子を報じたもので、25mを自由型30秒96、背泳ぎ37秒46、平泳ぎ39秒46の堂々たるタイムで完泳されたとのこと。

このタイムは現在のマスターズ記録を上回るもの。90歳を待たず早速出場されるようお勧めしておきました。1990年度マスターズ日本記録保持者の中に又一人、凌泳会員の名前が増えるものと楽しみにしております。

(編集幹事 石井記)

平成元年度 凌泳会総会並びに懇親会

〔総会〕

日時 平成元年5月21日(日) 午後2時より

場所 六甲台 教官食堂

出席者

犬童水泳部長、小山会長(昭7)、三宅 林(昭21)、石井義章(昭27)、前田 修(昭34)
岡田重義(昭37)、酒井 潤(昭58)、部 幸雄(平1)、守沖 敦(平1)、他役部員一同

議 事

遠来の小山会長のご出席を得て、新緑匂う六甲台に於いて開催しました。先ず会長のご挨拶があり、引き続いて議事に入りました。

I 凌 泳 会

イ. 昭和63年度経過報告

ロ. 昭和63年度会計報告

ハ. 平成元年度行事予定

「凌泳七十年史」刊行に向かって活動開始、既に1月より編集委員会を結成、平成3年夏完成を目標に進めています。各位の絶大なるご協力を切望致します。

ニ. 平成元年度予算審議

ホ. 凌泳会役員改選

佐藤幹事長がニューヨークに転勤された為、代わって岡田重義氏(昭37管)が就任されました。プールの老朽化が激しいので、これの改築を考えたいと力強いご挨拶がありました。

その他、転勤等に伴う若干の変更がありました(凌泳誌参照願います)。

II 水 泳 部

イ. 昭和63年度活動報告、並びに平成元年度活動予定報告

ロ. 昭和63年度会計報告、並びに平成元年度予算報告

議事終了後、現役部員の自己紹介並びに抱負の発表があり、4時半頃解散しました。

〔懇親会〕

出席者

犬童教授(水泳部長)、小山会長(昭7)、岡本忠男(昭17)、三宅 林(昭21)、石井義章(昭27)、堂本直正(昭30)、松田司朗(昭32)、前田宗雄(昭32)、前田 修(昭34)、

上田剛弘(昭56)、岡崎憲之(主将)、古谷拓裕(主務)、東 圭紀(競泳主任)

総会終了後、会場を三宮 駅前KUC(神戸大学クラブ)に移し懇親会を開きました。総会に出席出来なかったOBの参加もあり、また現役幹部も招待して、日頃疎遠になりがちな会員の懇親をはかり、また部の現状を聞く等和やかに楽しい一時を持つことが出来ました。

以上

月 見 の 宴

休日だというのに、六甲台プールには何人かの水泳部員がいた。部室を覆う蔦の葉は、まだ9月の半ばだというのに所々色あせていた。軽く手を触れるだけでバチという音とともに根元から折れて、ひびの入ったコンクリートの上に落ちた。コンクリートのプールサイドは、いつものように片付いていてゴミ一つ見当たらなかった。プールサイドに枝を張り出した木々の落とす枯れ葉が全てを隠していた。浄化槽の壁に当たっては、はね返るボールの音、女子部員の声、そして、ダイコンを煮込むコトコトという音が響いていた。耳に水が入ってきた。そういえば午後はOBチーム対現役チームの水球をした。またバスマスをしてしまった。バスマスをする奴はクズだ。もっと巻き足を鍛えなければならない。ジャージが抵抗になって足が思うように動かない。何時間もかけて煮込んだおでんは最高の出来だった。K先輩に反対されながらも作ったひねりこんにゃくが、最高の歯ごたえと味を醸し出していた。量が少なかったのかすぐになくなってしまった。来年からはもっと作らなければならないだろう。目が回ってきた。どうもうまく泳げない。OBの先輩が「昔は、この太い木も私の腕ぐらいの太さだった」とおっしゃっていた。それぐらいの時に切って頂ければどんなに助かったことだろうか。フェンスにつけられた電球を目ざして泳げばいいのだ。でもH先輩の腕ぐらいあったら難しいだろう。頭が混乱している。又、思い出せない。最初は……確か「神戸大学」だ。先程は間違えてしまった。やっと長い長い25mが終わった。プールサイドに手をかけ、上半身をひきずり上げた。水にぬれたTシャツがほてる体に心地良かった。ちょうど目の前に日本酒のバックがあった。側面に描かれた桃色の菊が綺麗だった。(染谷記)

出席者

田中 克己(特)	吉野 栄(昭15)	佐敷 定雄(昭49)	丸末 一之(昭52)
藤田 弥門(昭57準)	金 一波(昭59)	谷水 利行(昭59)	藤本 栄美(昭59準)
吉田不二彦(昭60)	浦野 敏明(昭60)	坂田 純孝(昭60)	南 宏尚
足立 小砂(昭60準)	島崎 昌彦(昭62)	三好 岳(昭62)	三住 千里(昭62)
甲野 賢(平1)	徳永 守(昭63)	加地 恵(昭63)	植松 忠士(平2)
奥村 直樹(平1)	黒田 茂(平1)	守沖 敦(平1)	

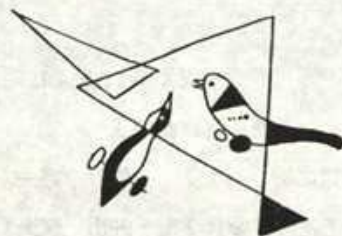
初 泳 ぎ

今年の初泳ぎは、平成の幕開けとなった昨年と同様、兵庫県立健康センターで、8名のOBの方々と現役部員の出席のもとで行われた。プールで約1時間半程泳いだ後、会議室に場所を移して会合を開いた。現役部員は、この場で発表した今年の抱負を実行に移し、有意な1年を過ごすことであろう。

(城記)

出席者

石井 義章(昭27)	橋本 力(昭30)	前田 修(昭34)
原田 久富美(昭62)	中川 善雄(昭62)	加地 恵(昭63)
甲野 賢(平元)	奥村 直樹(平元)	



[支部だより]

東京凌泳会 夏季総会

平成元年7月22日 於：東京凌霜クラブ

出席者(巻頭写真参照)

木村 芳雄(大15)	小山賢之助(昭7)	草野 嘉一(昭7)	山口 宗樹(昭16)
平井 洋(昭16)	富中 暁(昭18)	井川 俊夫(昭22)	小原 祥男(昭29)
田淵 五郎(昭30)	榊原 修造(昭33)	山田 貴彦(昭37)	鈴木 正弥(昭39)
前田 和秀(昭40)	宮部 高博(昭42)	阿部 洋三(昭42)	菱田 徹(昭45)
玉置 明(昭45)	井上与志男(昭47)	久保田勝己(昭59)	長崎 真人(昭59)
島崎 昌彦(昭62)	吉岡 成人(昭63)	幹事=呉竹 正人、浦野 敏明(昭62)	

以上24名

久しぶりに木村大先輩がご出席、自社製の見事なプリントの高級綿ハンカチを全員に頂戴した。

「小山君には水泳では負けるが、ゴルフでは負けないよ」と益々お元気なご様子。

直前の7月中旬の日本マスターズ長水路大会で世界記録を更新された小山会長に、俳壇で有名な平井洋先輩より「佚老や傘寿を泳ぎ世界新」の献句が披露された。

小山会長から、又、残念ながら当日になって欠席された林荘八郎氏からそれぞれウイスキーの差し入れを頂戴した。

マスターズのメンバーを中心に河童のシンボルマークと凌泳会のネーム入りのTシャツを作ろうという案が提出された。

今回から鈴木正弥氏も東京支部幹事に加わり活躍頂いている。

(田淵、呉竹記)

東京凌泳会 忘年会

平成元年12月4日 於：東京凌霜クラブ

出席者(巻頭写真参照)

小山賢之助(昭7)	草野 嘉一(昭7)	宮本 伯夫(昭9)	山口 宗樹(昭16)
平井 洋(昭16)	井川 俊夫(昭20)	中崎日出男(昭24)	小原 祥男(昭29)
田淵 五郎(昭30)	榊原 修造(昭33)	細田 忠雄(昭33)	山本 哲弘(昭34)

山田 貴彦(昭37)	鈴木 剛弘(昭38)	林 荘八郎(昭38)	武政 英幸(昭39)
鈴木 正弥(昭39)	滝沢 章三(昭39)	前田 和秀(昭40)	山口 幸郎(昭41)
中畑 勝明(昭41)	日野 康(昭41)	阿部 洋三(昭42)	玉置 明(昭45)
井上与志男(昭47)	岩切 博(昭46)	佐敷 定雄(昭49)	太田久美子(昭61)
呉竹 正人(昭59)			

以上29名

久しぶりに30人近い参加者を得てにぎやかな忘年会となりました。凌泳七十年史刊行の案内やらゴルフコンペの呼びかけがあったりして意識を喚起したのかと思います。

初めに小山会長より10月、米国インディアナポリスに於いて開催されたパンパシフィック・マスターズ水泳の報告があり、金メダル3個獲得された由。帰途ニューヨークにて佐藤一夫氏(昭30)の歓待を受けられたとのことでした。

井川俊夫氏(昭22学)は丸紅時代の経験を生かしてオーストラリアの永住権もあり、講師稼業で行ったり来たりしているとの事でしたが、この度徳間書房から「オージー・ザ・ラッキー・カントリー」を刊行されました。

そのほか11月24日のゴルフコンペ(別掲参照)の報告あり、その間に佐敷君はカップマークのTシャツの売り込みに懸命。司会者は議事進行に大奮でした。

(田淵、呉竹記)

第1回関東凌泳会ゴルフ・コンペ

1989年の夏期総会で、ゴルフ・コンペをやってはどうかとの声があり、年も押しつまった11月24日(金)に、小山会長が理事長をしておられる青梅市の名門コースである青梅ゴルフ倶楽部で第1





回目の懇親ゴルフコンペが開催された。当日は快晴で暖かく、コースも完全で、“NO EXCUSE”の状況下、熱の入ったプレーが展開された。結果は次の通り。

	中コース/東コース	GROSS	HC	NET	
小原祥男 (昭29営)	45/41	86	15	71	(優勝 ニアピン)
黒田英雄 (昭35営)	52/51	103	29	74	(2位 小波賞)
鈴木正弥 (昭39経)	47/48	95	19	76	ニアピン
武政英幸 (昭39営)	49/52	101	22	79	
山口宗樹 (昭16学)	58/48	106	25	81	大波賞
小山賢之助 (昭7学)	64/58	122	36	86	ブービー
鈴木剛弘 (昭38営)	57/54	111	24	87	ドラコン×2

当日はWeek day ということもあり、仕事の都合などで参加できなくなった人が3人も居り、7人だけのコンペとなった。今後は年2回、若い人でも参加できるよう Week end での開催を検討したい。

京阪神地区忘年会

(昭27学) 石井義章

昨年の忘年会で次回の幹事を引受けてくれた杉野誓君(昭58)夫妻が、設営の労を取ってくれた。場所は大阪梅田の「活珍王」、日は12月8日(我々年配には特殊な感慨のある日)。11月下旬、堂本君より電話あり、京阪神間の会員120人に案内出したが、返信33、内出席5人。これではあまりに淋しいので電話で呼びかけようと、数人手分けして電話したが、皆色良い返事は無かった様子。然し九州の岡本先輩(昭17)から「案内こないが何時やるのだ、出席するから要目知らせ」と嬉しい電話

もあった。

定刻6時半に着くと、古賀、三宅両先輩は既に来ておられた。やがて次々に懐かしい顔が見え、岡本先輩も「やあ、やあ」と元気な姿を見せられた。

盛り沢山のシーフードをつつきながらしばし歓談。親子ほど年が違っても、同じプールの水を飲んだ仲間として忽ち解けあえるのが水泳部の良いところ。

この日の朝、福岡の溝口先輩(大13高)から届いたお手紙と新聞記事(別掲参照)を披露。88歳にして週に3日も泳がれ、90歳になったら日本記録に挑戦しようというお元気に驚嘆。60・70歳はまだまだ青年と意を強くした次第。古賀先輩も「俺もマスターズに出ようかな」と、また仲間が増えそうな気配。

次第にアルコールも回ってきたのか話が大きくなってきた。六甲台のプールを何とかせねばならぬ。築後60年、傾きが目立ち、水漏れもひどい。そろそろ全面改造の時機ではないか。あの場所に3階建の温水プールを造り、古林先生悲願の365日泳げるプールを実現しよう。ラフスケッチを画いて見積りを取ろう。大学当局並びに文部省に働きかけてみよう、等々。

これらが夢物語に終わらず現実のものとなる事を祈って乾杯し、8時半散会した。

出席者

古賀 克己(昭17)	岡本 忠男(昭17)	三宅 林(昭21)	石井 義章(昭27)
堂本 直正(昭30)	富岡 道雄(昭31)	松田 司朗(昭32)	岡田 重義(昭37)
金 一波(昭59)	杉野 誓(昭58)	杉野 美奈(昭58準)	



杉野 岡田 杉野夫人 金 岡本 富岡 堂本 古賀 石井 三宅 松田

会員からのお便り

凌泳総会案内状返信より



犬童一男（特）

先日、B学部学長より連絡がありました。当日は2階で経済学部関係の会合でマイクを使用の為、1階では別途のマイクを持ちこまなければいけないそうです。その必要なしと答えておきましたが、必要でしたら手配して下さい。

岸 檜 夫（特）

御案内を頂戴しましたが、当日、公務と重なり、欠席致します。ご盛会と現役諸君のご活躍を祈念致します。ご参会の皆様によろしく。

溝口 卓 郎（大13高）

米寿を迎えて割合に元気です。

水球の思出

国内に長水路プールの無かった時代に敏馬の海で木杵を浮かべた中で神戸外人倶楽部と競技し、強たか海水を飲まされた。恐らく水球を始めたのは、日本で吾等が最も古いと思ふ。

水球部頑張れ。

木村 芳 雄（大15高）

私の時代はまだ学校にプールが無く、青谷の池に杭を立てて泳いでいました。本科二年の時にやっと2.5米プールが出来たので、4月になると皆で唇を紫色にして、ふるふる震え乍ら泳いだのが懐かしい思出です。

三 吉 吉 郎（昭6高）

会長をはじめ皆様の御活躍を御期待申し上げます。小生も体調頗る元気ですが、残念乍ら出席が出来ません。

植 木 實 就（昭6高）

御案内有難うございました。小生体調不勝乍残念欠席致します。凌泳会の一層の発展と会員皆様の御健勝を御祈り致します。

板 野 亀八郎（昭9学）

二病息災であります。東京での凌泳春秋会（17:00～18:30位）には出席しますが、夕刻からの会合には原則として出席せぬことしておりますので悪しからずご諒承下さい。御盛会

を祈ります。

宮本 伯夫 (昭9学)

昨年12月から今年4月迄ドクターストップでgolfをやめていましたが、ポツポツ始めた様な次第。まあ元気です。囲碁を少し勉強していますが、老化現象で上達どころか段々負けが多くなりました。

古賀 克己 (昭11学)

元気で毎日通勤しています。5月19～21日まで佐賀中学卒業60周年の集会をやるため佐賀へ行きますので、誠に残念乍らまた出席できません。どうぞ皆様によろしく。4月下旬に11日間、佐賀高水泳部主催の欧州旅行に参加、ミュンヘン、ザルツブルグ、ウィーンとブタペストの観光をしてきました。凌泳会行事には、できるだけ出たいと思います。よろしく。

小池 三郎 (昭11学)

度々のご案内ありがとうございます。いよいよご盛会の趣大慶に存じます。小生極めて健康にて毎日を過しております。遙かにご盛会を祈る。

太田 正元 (昭13学)

御蔭様にて元気です。週二回、よみうりランドのクラブに、水泳やら麻雀をやっています。神大の水泳部も随分強くなったものと喜んでます。 旬々

満野 公介 (昭14学)

何時もながら総会の案内有難う御座います。都合により参加できず残念です。然し、元気で毎日業務に励んでいます。

大西 眞博 (昭15学)

お蔭様で元気で過しています。之も昔水泳していたので丈夫だと思っています。部員の皆さん、大いに体力をつけて頑張ってください。小生73才、年がいもなく今、芝居の練習しています。横浜博覧会、コープふれあい館(生活協同組合)で「リヤ王」(シェイクスピア)のリヤ王を演じます。但し1回限り(6/4)。一世一代と思ってやってみます。

現役の皆さん、よい成績を上げて下さい。

吉野 栄 (昭15学)

どうやら元気。此の案内の到着が5月9日、毎年総会の期日が中々決まらない様ですが、5月最終の日曜とか決められないものですか。一昨日、20～21日、信州行を決定した処です。

山口 宗樹 (昭16学)

○やば用があり総会を欠席します。皆様に宜しくお伝え下さい。

○凌泳会、水泳部共益々活発な活動を続けている事、嬉しく存じています。

○本年も頑張ってください。東京勢も何かを企画して、更に親睦の実を上げたいと思って居ります。

前田 寿 (昭16学)

“プールには久しく行かず はや5月” ぼちぼちやっています。

平井 洋 (昭16学)

薫風や 一円足りぬ 小買物 洋城

尾上 信三 (昭17学)

ご無沙汰ばかり致し居り、恐縮の次第もありません。引続きリハビリ療養のため欠席させていただきます。本年度の一層のご健闘とチームワークの強化をお祈り申し上げます。老いて益々ご活躍の小山、草野先生のご壮健を願ひ上げます。

木村 京一郎 (昭17学)

今年3月で福島女子短大を退職、完全な年金生活者になりました。水泳部生活できたえられた体力の維持につとめて行きたいと思っています。遠隔地のため母校水泳部には御無沙汰ばかりして申し訳ありませんが、頑張ってください。

熊野 泰己 (昭18学)

一昨年より身体の調子が悪く、殆ど旅行をして居りません。皆さんによろしくお伝え下さい。

荻野 茂希 (昭18学)

当日は先約あり出席できませんが、年に少なくとも一回は母校の水泳の試合を見に行くよう努力したいと思っています。出来れば母校の勝つところが見たい。兵庫県大学対抗戦がよろしいでしょうか。二度とない青春です。大いに学び、よく遊んで、仲良くやって下さい。

富中 暁 (昭18学)

相かわらずヘルスクラブで水泳とサウナに励んでいます。皆様のご健康を祈り上げます。

井上 清 (昭19学)

ご案内の度毎に往時を思い出したり、先輩、同僚の面影がちらついたりして居りますが、失礼続きで相済みません。今にして思へば、当時は戦時中ながら、あの眺めのよい六甲台のプールで元氣いっぱい泳げたあの氣力、体力が如何に幸せであったかと、泌々感じて居ります。当時鍛へたお蔭で現在も元氣でやって居ます。御活躍を祈ります。

山内 利男 (昭20学)

3年前に役員を退いてから、インド専任の常任顧問として毎4半期に2~3週間づつ訪問出張を続けています。インドではホテルのプールで泳いでいます。

岡 庄一郎 (昭23学)

先約の為出席できません。ご出席の皆様によろしく。来年のご活躍を祈ります。

山 越 重 義 (昭23学)

今年も残念ながら出席できません。少しずつ温水プールで泳ぎ始めましたが、体が思うようについてきません。皆様によろしく。

佐 脇 鷹 平 (昭25学)

連絡がなくて申し訳ありません。出席はできませんが、諸兄姉のご健闘を祈ります。勤務地東京でその日はムリ。

中 井 三 郎 (昭27学)

毎日元気で過しております。今年度の現役部員の御健闘を期待致しております。皆様によろしく御伝え下さい。

小 原 祥 男 (昭29学)

残念ながら欠席します。昨今近所のスイミングクラブに入り、時々泳いでいますが、先日「お上手ですね」と隣のオバちゃんにほめられました。やはり分るのかなあ……。でも続けて泳げるのは125mが精一杯です。

田 淵 五 郎 (昭30学)

返信遅れて失礼しました(5月14日の短水路マスターズ千葉大会の結果を見てから投函)。お蔭で東京地区の14人もの凌泳マスターズ会員がエントリーする賑やかさで、個人種目以外にリレー、メドレーでも金、銀、銅メダルを大量獲得する盛況でした。自分でもマスターズ自己ベスト(50背 36.44)が出せて満足でした。総会、懇親会に御参加の皆様によろしく。

佐 藤 一 夫 (昭30法)

主人は目下海外駐在です。住所は

43 West, 61st, Street Apt 17N, New York
N.Y, 10023, U.S.A.

松 田 司 朗 (昭32法)

相変わらず毎日千メートル泳いでいます。先日、金一波君とゴルフをしました。二人共でした。

山 口 仁 郎 (昭32法)

二人目の孫(男子)誕生。白い柴の子犬(生後1ヶ月)一匹と、ややこしい毎日です。

岡 見 晴 児 (昭33法)

総会には都合により残念乍ら出席できません。部員諸君のご健闘を祈ります。懇親会には出

席の予定で返信致しましたが、海外からの来客で夜もつぶれることとなりました。残念乍ら出席とりやめとさせていただきます。ご出席の先輩諸氏によりしくお伝え下さい。

高橋 靖周（昭33経）

昨年7月に10数年振りに営業にまわり、現在、本社営業部長をやっております。今年も総会に出席できず申し訳ありません。凌泳会のご発展と総会のご盛会を心からお祈り申し上げます。

酒井 孝栄（昭36経）

シーズン入り直前となりましたね。この時期になると現役の頃を思い出します。今年も神大水泳部健在なり、と思わせる成績を部員一同で勝ちとって下さい。祈っていますよ。

野田 浩志（昭36営）

昨年も同様だったのですが、先約があり欠席いたします。お忙しいでしょうが、もう1ヶ月程早く御案内いただければ……。マスターズにも出場したいのですが、海外出張が多く都合がつかません。

萩原 武（昭37工）

総会の御案内ありがとうございます。ごぶさたばかりで申し訳ありません。凌泳会、水泳部ともに隆盛のこと、心から嬉しく存じます。小山会長も益々御元気の御様子、凌泳会の発展の源泉と御慶び申し上げ感謝しています。現役諸君の今シーズンの御活躍を心から期待し諸先輩の御仕健を祈っております。

井上 隆史（昭37営）

ごぶさた致しております。体調維持の為、目標は週2回泳ぐことですが、現実には1回位です。今年もJAPAN MASTERSには挑戦したいと思っています。皆さんのご活躍をお祈り致します。

柳本 正雄（昭37営）

御盛会でありますように祈念いたしております。

米田 啓祐（昭37教）

御案内をいただきありがとうございます。都合で欠席させていただきます。一応マスターズに登録しておりながら競技会に参加したこともなく、トレーニングもやっていないようなことで恥ずかしく思っています。近くに一年中泳げるプールもできたので泳ぎたいとは思っています。

岡田 重義（昭37営）

1年余りの福岡暮らしを体験し大阪へ舞い戻りました。御引廻しを願ひ上げます。

平岡 昭 朗 (昭38教)

当日急な私用の為、欠席致します。皆様によろしくお伝え下さい。昨年秋、橋本力先輩から姫路分校のプールについて問い合わせがあり、姫路分校に出向いたところ、プールは改修工事に入っていました。改修工事に入る前に凌泳会員の方々に連絡し「最後の一泳ぎの会」でも開いておきたかったと思ひ残念で仕方ありません。近くに居りながら誠に申し訳ありません。

藤岡 治 男 (昭38教)

4月1日付で勤務先が変更になりました。

〒577 東大阪市金岡1-23-9 東大阪市立金岡中学校(06-721-1972)

林 荘八郎 (昭38経)

御盛會を祈ります。卒業以来欠席ばかりで申し訳ありません。今年は機会をつくって六甲台を訪れたいと思います。(毎年同じことを考えていますが、仲々実現しませんでした) 御出席の皆様によろしく。

鈴木 正 弥 (昭39経)

案内状ありがとうございます。本人は3月初旬よりバンコク出張中の為、欠席させて頂きます。凌泳会の御発展、お祈り致します。 かしこ

丸 山 昱 也 (昭40工)

すみません。出席の予定であったのが、先約が入っていたのを忘れていました。というわけで久し振りに欠席です。たまには良いでしょうか……?

前 田 和 秀 (昭40法)

最近は体力の衰え著しく、50m泳ぐのが精一杯です。5月14日(日)はマスターズ千葉大会、参加する事に意義を感じずることにしています。御出席の皆様によろしく。現役諸君の活躍を期待しています。

手 嶋 忠 之 (昭41理)

いつも欠席ばかりしておりまして申し訳ありませんが、よろしく御願ひ致します。

山 口 幸 郎 (昭41工)

今年もがんばって下さい。諸先輩の皆様によろしく。

宮 部 高 博 (昭42文)

仕事が煩雑でいろいろ苦勞しています。5/14 マスターズ短水路に凌泳会の人達と出場します。練習が思うように出来なくて残念ですが、楽しくやりたいと思います。

阿部 洋三 (昭42工)

大型プロジェクト入手の為、約1年近く社外に出ています。水泳の方は「何とか、何とか…」と思いながら続けていますが、タイムの方は低迷気味です。今年も現役諸君が好成績をあげられることをいっています。

玉置 明 (昭45経)

本年4月に転任となりました。

井上 与志男 (昭47法)

花のお江戸へ参りまして早や1年余りが過ぎました。朝から晩まで人、人、人の多さには少々うんざりしますが、多忙に近い環境の中で亀井勝一郎の言葉を思い出す今日この頃です。皆様どうぞよろしくお伝え下さい。

米田 章 (昭47法)

昨年末、広島から神戸へ転居しました。郵便が転送で手間どり、返事が遅れ申し訳ありません。当日は仕事があって欠席します。残念です。皆様によろしくお伝え下さい。

佐敷 定雄 (昭49農)

今年もカッパのシーズンがやってきました。当方も週に1回～2回泳いでおります。六甲台の水の冷たさがなつかしく感じられます。今シーズンも頑張ってください。総会に出席の諸先輩によろしくお伝え下さい。

長谷川 健 (昭49経)

御無沙汰致しております。福岡に転勤になり、早いもので1年になりました。近所に温水プールもあり、時折は泳いでいます。今年はずっと泳ごうと思っております。残念ながら欠席致しますが、当日御出席の皆様によろしくお伝え下さい。本年度の現役諸君の御活躍をお祈りします。

瓜生 誠二郎 (昭50経)

2月末に下記住所に転居いたしました。近くにおいでの際は立ち寄り下さい。

〒235 横浜市磯子区岡村1-3-20 日発社宅1-2

(TEL) 045-754-1853

中西 康之 (昭52工)

現役部員殿、今年もまた御活躍、期待しております。

星合 正子 (昭53理)

今年も現役部員の方々のご活躍を期待しています。

後藤 信人 (昭54営)

昨年11月より台湾へ単身赴任しており、泳いでいないようで、マスターズにカムバックするには10年位かかりそうとの事です。

館谷 彰司 (昭55工)

現役のみなさん、今年も健闘を祈ります。歴代10傑表がどんどん塗り替えられていくのを見るにつけ、水泳部時代が過去へ遠のいているのを感じます。又、こんな女性がいたかなと不思議がっていて、あとで名前が変わっているのを知らされて驚いたり。会合は御無沙汰していますが、凌泳は、このように楽しく読ませて頂いています。

油谷 隆司 (昭55工)

住所が変わりました。

大林 良和 (昭55医)

小野市民病院の内科医として勤務し早や1年がすぎました。娘2人はスイミングスクールにかよっておりますが、私は全く泳いでおりません。部員の方々の御活躍をおいのり致します。

土井 祐三 (昭55法)

紀子 (昭57教)

1988年12月10日に長男・貴文が生まれました。一男一女の親になりました。のんびりしたこの田舎で、のんびり子育てしています。きれいな海で去年はよく泳ぎました。今年も減量を心がけてバシバシ泳ぎます。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

上田 剛弘 (昭56営)

昨年は一度も顔を出さず申し訳ありませんでした。念願の異動希望がかない、ようやく自由な時間もできるのではと期待していたのですが、新任地でもなかなか自由はききそうにありません。今年も好成绩を期待します。がんばって下さい。

慈 幸弘樹 (昭57教)

現役のみなさんの御活躍を楽しみにしています。先輩諸兄によりしくお伝え下さい。今年の5月から10月まで勤務先は和歌山労災病院の内科の予定です。

白子 靖則 (昭57営)

欠席ばかりで申し訳ございません。現役部員の皆様、今シーズンもがんばって下さい。

後藤 芳光 (昭57経)

子供が小さいので総会等参加できず、皆様には御無沙汰しております。最近の楽しみは、子供と一緒にお風呂に入ることです。'89年のG.Wが長かったので金欠病に陥り、総会には出席できず申し訳ありません。

国本温代（昭58教）

いつも欠席ばかりですいません。5月21日は私の結婚式と重なってしまいました。名前が武田に変わりますが、今後ともよろしくお願いします。

太田雅彦（昭58農）

主将の岡崎君、公約のビデオの証拠は保存してある。関ボロは必ず優勝する様に //

金一波（昭59経Ⅱ）

当日はアメリカから来客しますので、どうしても行けません。ごめんなさい。超多忙でマスターズにも参加できず、イライラした毎日を送っています。ひまをもてあました学生時代がなつかしいです。現役のみなさん、時間を大切に、二度とない学生時代を大切にすごして下さい。

呉竹正人（昭59法）

情報システム部に異動しました。日々トレーニングで新人の気分です。

谷水利行（昭59法）

卒業後、関西を離れており、総会にはいつも欠席で申し訳なく思っております。尚、7月には2世が誕生の予定ですが、早速水泳をやらせたいと考えています。

山野和則（昭59農）

挙式翌日のため参れません。今度はけがでマスターズ参加も無理でした。夏の代々木も多分無理と思われませんが、来シーズンに向けてまたがんばります。

藤田弥門（昭57準）

6/1付で西部支社（新大阪）に転勤いたします。

武田温代（昭58教）

5月に結婚しました。高知I.Hで400m個人メドレーで我が水泳部入沢が4位に入賞しました。来年中央大学へ進学しますので、インカレ等でよろしくお願いします。

楠戸祐子（昭60準）

子育てが忙しくて、いよいよそちらの会に出席出来る機会が少なくなって来ました。この調子だと皆様にお会い出来るのは5～6年は先だろうと思います。とても寂しいけれど、子供の成長を見ながらの毎日は充実して楽しいので、しばらくはこちらに専念します。皆様の御健勝をいつも遠くから祈っています。

浦野敏明（昭60営）

現役諸君、今年も素晴らしい成績を残せるように頑張ってください。私は実業団、マスターズと頑張ります。

太田 久美子 (昭61文)

今年度も皆様の御活躍を期待しています。

黒川 良介 (昭61経)

新婚旅行中につき欠席させていただきます。住所が変わっておりますので、よろしくお願いします。

林 磨智子 (昭62教)

「先生ノ」と呼ばれる身になって、はや1年。2年目の今年は小6の子どもたちを相手にがんばっています。水泳も忘れない程度にたしなみ、このごろは自転車にも乗ってます。忙しくて、なかなか試合を見に行ったりできなくてすみません。現役部員のみなさん、がんばって下さい。

井口 恵理 (昭63工)

いよいよシーズンですね。現役の皆さん、精一杯がんばって下さい。私はといえば、OLも2年目。相変わらず土・日は出勤の運命してます。今年は試合を見にいこうと思っていますので、よろしくお願いします。

中塚 泰弘 (昭63農)

家から車で30分も走れば、日本の最北端に着いてしまいます。最北端より皆様の御活躍をお祈りいたします。

坂田 亨 (昭63農)

当日は仕事のため、残念ながら出席出来ません。OBの方々によりしくお伝え下さい。4回生の皆さん、学生最後の夏です。悔いの無いように精一杯頑張ってください。健闘を祈る！岡崎キャプテン、がんばれよ！

近藤 直明 (昭63営)

先日、マスターズの千葉大会に、凌泳会チームとして参加しました。久しぶりに先輩諸氏に会えて嬉しかったのですが、私の50Frのタイムが、佐敷さんの50Baとほとんど同じだったのは、少々ショックでした。

今年は暖いので、現役の皆さんは風呂に逃げ込むことなく、練習に打ち込んでいらっしゃるでしょう。今年の活躍を期待しております。試合日程、特に関ボロの日時と対戦相手は必ず連絡して下さい。できる限り応援に行くつもりです。

村上 美和 (平1教)

私は只今、大阪市中央区備後町(先日、笹田君?か三宅君?から連絡をもらった時は、住所改正後だったにもかかわらず、前の住所を報告してしまいました)の三井ビルでOLしてい

ます。保険会社はヒマで給料が良い、という条件にホレて入ったのに……忙しくて忙しくて
“5時から女”や“花金”なんて、いったいどこの会社のこと?! って感じです。今夏は願
望のピキニ型の小麦色夏をんな目指して頑張りますので、現役部員の皆様も是非、大学思い
出の一頁となる様な素晴らしい活躍を、今年のこの夏にくりひろげて行って下さい。試合に
は応援に行きます。Fight/ MIWA.

奥村直樹（平1経）

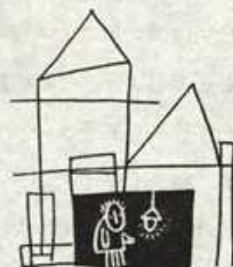
配属が決まりました。あとしばらくは神戸です。関ボロ頑張ってください。期待しています。

川上景子（平1教）

元気な子どもたちを相手に、毎日ぐったり。おまけに、参観日や家庭訪問で、緊張の連続で
す。体力を蓄えておいて本当によかった、よかった。今年は女子部員がたくさん入部したそ
うですね。がんばってください。応援しています。

後呂忠詳（平1経）

いつもお世話になります。本人は今年5月1日より川崎の寮にはいています。これからも
なにかとお世話になりますが、どうかよろしくお願いします。 後呂忠詳 代





月見の宴



岸 権 夫 (特)

月見の宴のご案内、有難度うございました。当日、フェスピック大会のため欠席します。ご
参会の皆様によりしくお伝え下さい。ご盛会と水泳部のご発展をお祈り致します。

北 條 貞 夫 (昭6高)

80才のオヤジらしく暮して居ります。若い皆様、一日一日を大事にして下さい。すぐオジン
はやって来ますよ。御盛會を祈ります。

三 吉 吉 郎 (昭6高)

マスターズ陸上競技に75才から参加して以来、M75オクラス砲丸投げで日本記録を持って頑
張って居ります。来年はクアラルンプールのアジア大会に出る予定です。

草 野 嘉 一 (昭7学)

お陰様で元気です。80才になりました。泳ぐ機会は少なくなりましたが、海外旅行などを楽
しんでおります。

板 野 亀八郎 (昭9学)

先づ欠席の理由：健康上の理由から、夕刻からの会合には出席せぬことにしています。飲酒
好ましからず。睡眠時間に影響する。大グサに勤務先を記載しましたが、社員、従業員合計
小生一人のみ。業 適宜推察して下さい。現在、数ヶ所の医療機関に世話になっており、1
回に6種類(朝食後の1回は7種類)のクスリを飲まされています。それでもヒトからは、
「顔色が良いですね」「お元気ですね」と云われます。外見だけでは中身は判らぬものです
ね。

宮 本 伯 夫 (昭9学)

どうやら元気に暮しています。時候のよい時だけゴルフをして遊んでいますが、注意力散漫
になり、100前後です。囲碁も時々やりますが、ボカが多くなって、相手を喜ばす事が多く
なりました。年令には勝てませんネ。

池 谷 俊 一 (昭10学)

歩行困難の為、外出は散歩程度。残念乍ら欠席します。

古 賀 克 己 (昭11学)

月見の宴御案内を頂き有難うございます。9月15日は、以前から計画の友人達との旅行のため
出席できなくて残念です。小生相変わらず元気で、毎日会社勤めを続けています。本年4月

に西独、オーストリア、ハンガリー旅行(出身高校水泳部主催)に参加しました。昨春、肺部大手術後、半病人の老妻と2人暮しですが、近所に住む子、孫らの賑やかな来訪など、喜寿老人の平穏な日々を送っております。皆様の御健闘を祈ります。

大内 義 仁 (昭14学)

きびしい暑さでしたので、よくプールに通いました。ご案内いただいた月見の宴には、当日地元の行事がありますので欠席いたします。盛會を祈ります。

山 川 初 雄 (昭14学)

小生お蔭様で老来益々頑健に消光しています。春秋2回の定期検診でも注意を受けることはない現況です。将来とも健康管理には注意して、家族に迷惑だけはかけないようにしたいと心掛けています。

大 西 眞 博 (昭15学)

おかげさまに元気で過ごしています。本年の御健闘に敬意を表します。何年経っても水泳部での感激は忘れられず、今でも時々室内プールに行き、先日、小豆島で泳ぎましたが、昔を偲んでいます。諸兄、益々練習に励み、御活躍下さい。小生年に負けず頑張ります。

瀬戸内の入江の向うよ幾重にも 小ききうねり穩に寄り来る

吉 野 栄 (昭15学)

年相応に元気です。出席、たのしみにしています。

森 芳 夫 (昭16学)

一週間に一度の1000米の水泳をエンジョイしております。

山 口 宗 樹 (昭16学)

現役の皆様のご活躍に感謝致して居ります。古稀を過ぎて仕事からは解放されましたが、生来の多忙症で、毎日を自分で作った予定表に追い廻され、忙しく健康に過して居ります。

平 井 洋 (昭16学)

いま来るな 三途の川は秋出水

尾 上 信 三 (昭17学)

近いのに何時も欠席で申し訳ありません。療養の継続中です。皆様のご健康とご発展を祈ります。

荻 野 茂 希 (昭18学)

一応健康ですが、年々積極性に欠けてくるのも事実。足の動く間は、極力外に出て、カメラ携帯で好きな写真をとっている。同期か、その前後で一緒にプールで泳いだ方が京阪神にいないので、凌泳会はつい御無沙汰して申し訳なく思っている。

富 中 暁 (昭18学)

毎日むし暑く、“フロンガスの故だ”などとぼやき乍ら、汗を少なくする様、ゆっくり歩いています。ヘルス・クラブの水風呂に入った時(サウナの後で)と、晩酌スタートの冷たいビールの時が最も快適な瞬間です。

井 上 清 (昭19学)

毎度御連絡を戴き乍ら勝手続きで済みません。若い時に怠けたせい、此の年になって忙しい思いをして居ますが、プールで鍛えたお蔭で、兎に角元気でやって居ます。御盛會を祈って居ります。

植 木 實 就 (昭6高)

御案内有難うございましたが、病氣静養中のため失礼致します。諸兄姉の御健勝を御祈り致します。

浅 野 博 嗣 (昭22学)

今年3月で永い間のサラリーマン生活と訣別しました。老後を如何に充実した生活とするのかが、目下の課題です。

稲 垣 信 夫 (昭20学)

アメリカ、カナダ、8日より出張中につき失礼します。今年の夏は泳ぐのに恵まれず、1日だけ孫を連れて、終日プールに入っていました。

山 内 利 男 (昭20学)

本年4月、6月、10月と来年1月にインド出張を予定しています。トランクには水泳着を入れて用意はしているのだが、インドのホテルのプールでも泳ぐ暇なく走り廻って居ます。

三 宅 林 (昭21学)

凌泳70年史の編集委員の一人として参画しています。マスターズでは今年も頑張りました。バンバシフィック(インディアナポリス)にも参加の予定です。皆さんによろしく。

石 井 義 章 (昭27学)

16日から始まるフェスビックの準備のため、残念乍ら欠席致します。もし早く終ればかけつけます。凌泳70年史の編集に取り組んでいます。皆様の御協力をお願いします。

今 井 政 一 (昭24専)

元気で頑張っています。皆様に宜敷く。

小 原 祥 男 (昭29営)

残念ながら欠席します。先日、近所のスイミングプールで泳いでいたら、オバちゃんに“とってもお上手ですね”とほめられました。一寸よい気分でした。

岡 見 晴 児 (昭33法)

神戸に住んで3年になりました。いましばらくは神戸勤務が続きそうです。所用があり出席できませんが、ご出席の皆様によろしく。

高 橋 靖 周 (昭33経)

皆様お元気ですか。昨年10月に元六甲台三学部の卒業30周年記念同窓会が六甲台であり、久しぶりにプールをのぞきました。昔と余り変わっていない様子にほっとし、なつかしさがこみ上げてきました。月見の宴には今年も出席できませんが、ご盛会を祈念いたします。

北 村 敏 (昭34経)

月見の宴当日は、海外へ出張中でした。

栄 川 泰 介 (昭34経)

相も変わらず仕事上、毎月、東南アジアへ出張しています。最近、旅行の疲れを感じる年令になって来ました。9月も中旬より約10日、ボルネオに出向く予定です。御出席の諸先輩に宜敷くお伝え下さい。

酒 井 孝 栄 (昭36経)

当地では第44回国体が盛大に行われています。秋の趣きが一杯です。あとしばらくで初雪になるでしょうが、気候にもすっかり慣れて、快適な毎日をご過ごしています。皆様によろしく。

野 田 浩 志 (昭36営)

月見の宴というロマンチックな言葉に惹かれて、何をおいても出席に努めてきたのですが、昨年同様、海外出張と重なってしまい残念です。今は会社の近くのスイミングクラブの自由遊泳コースで楽しんでおりますが、夏休み中は学生客の方が儲かるせいかクローズ。1ヶ月休んだあと、再度1000米に挑んでおります。

萩 原 武 (昭37工)

九州での生活も9年目に入り、子供達もずい分大きくなりました。おかげ様で親子ともども元気で過しております。皆様には御無沙汰ばかり致して申し訳ございませんが、月見の宴の御盛会と皆様の益々の御発展、御健康を御祈りしております。

岡 田 重 義 (昭37営)

活気に満ちた運動部活動、大慶に存じます。仕事が変わり、手習いに大童で御手伝いが不十分で本当に申し訳ありません。Out Door Swimmingの時期が終わりました。プールで身につけたファイトを、今度は勉強に振り向けて下さい。実社会へ出ると、なかなか学問に接する機会を創り出すことが難しく、甘いものでないことが判ります。来季の健闘を祈念しています。残念ながら出張準備のため欠席します。盛会を祈念します。

米田 啓 祐 (昭37教)

過日、私の大学2年と4年のときに合宿した兵庫県神崎郡の長谷の近くを車で通る機会がありました。山なみや川の流れなど、なつかしく思い出しました。もう50メートルプールはなくなり埋め立てられていました。宿泊したお寺は、見事なものになっていました。

藤岡 治 男 (昭38教)

平成元年4月1日付で10年ぶりに学校現場に帰りました。10年ひと昔、学校は、生徒も職員体制もすべて大きく変わっていて、浦島太郎の心境です。しかし、又、中学校の水泳部活動が時々手伝えるのが何よりです。皆様のご健勝をお祈りします。

安 茂 弘 (昭39工)

水泳部には大へん御無沙汰しています。時間があれば水泳を始め、マスターズ大会にも出たいと思っています。

武 政 英 幸 (昭39営)

近所にあるドーム付屋外プール(県立高校)で毎日より、市内の同好の士と水しぶきを控え目に上げています。

鈴木 正 弥 (昭39経)

宴の盛会なること祈っております。東京にきて14年、その間すでに5年と、六甲台プールから遠ざかって長年が経過していますが、最近の現役もレベルが格段に上がっているのには驚いています。文武両道に秀でる学生であれ、と期待しています。

丸 山 豊 也 (昭40工)

月見の宴の私のスケジュールはちょっと不安定なので、とりあえず「欠席」にしておきます。1~3回/週、高砂のプールで水遊びはしています。

前 田 和 秀 (昭40法)

長らく六甲台のプールに顔を出せないでいます。来年は一度機会を作りたいと思っています。今年の全日本マスターズは、6月以降の右肩・肩症の為、不本意な成績に終わりましたが、来年、再チャレンジのつもりです。御出席の皆様によろしく。

手 嶋 忠 之 (昭41理)

月見の宴は失礼させていただきます。相変わらず週2回泳いでおりますが、最近とみに体力の衰えを感じる様になってきました。

宮 部 高 博 (昭42文)

遠路と言うこともあり欠席させていただきます。田淵、武政さんに相談し、佐敷君とで凌泳会のTシャツ(Lサイズのみ)をつくりました。よろしければ原価で販売します。約200枚分

す。販売方法は、決まり次第連絡します。まずは御連絡まで。

阿部 洋三 (昭42工)

思いもかけなかった病を得て、9月下旬頃から入院することになりました。しばらくは水泳はできないものと思われます。皆様、健康にだけは注意して下さい。

米田 章 (昭47法)

昨年末、広島から懐かしの神戸に移りました。不動産の仲介業で垂水近辺を歩きまわっております。10何年ぶりの神戸での生活ですが、六甲台まで足を伸ばす機会がありません。当日も残念ながら欠席させていただきます。皆様によろしく。

佐敷 定雄 (昭49農)

今シーズンはよく泳ぎました。50mバタフライ29.45、100mフリー1.05.20で泳ぎました。体をこわすことなく、長く水泳を楽しみたいと思っております。神大水泳部の活躍を楽しみにしております。頑張ってください。出席の諸兄によろしくお伝え下さい。

松野 圭悟 (昭59営)

9月20日まで北海道にて研修中です。

瓜生 誠二郎 (昭50経)

10月末までアメリカに出張予定です。皆様によろしく、とのこと。家内

家本 博一 (昭50経)

研究対象のソ連やポーランドの政治・経済が注目される時代になって、自分の研究と現実の動向とが共に動いてゆくことにヤリ甲斐を感じております。

松井 玲子 (昭52教)

先日、大野智恵さんの訪問を受け、とても楽しいひとときをすごしました。六甲台で同じ時を過ごした方々がなつかしく、またお会いしたいものだと思います。

星合 正子 (昭53理)

大変遅くなり申しわけありません。

木下 修一 (昭54教)

まじめな人生を、つまずき、よろけながらも前を向いて歩んでいます。私はまだ月見の宴には参加したことがなく、死ぬまでにはぜひ一度だけでも出席したいと思っています。しかし今年も都合がつかせません。来年を目ざして、この1年もまじめに生き抜きます。

上田 剛弘 (昭56営)

あいにく月見の宴の当日、フェスビック神戸大会の開会式の日ですので、出席できません。今年度もあまり応援に行けませんでした。神戸大学水泳部の名に恥じないような成績を期

待します。

慈 幸 弘 樹 (昭57医)

去年までは100 m平泳、1分18秒台で泳いでいましたが、今年入ってからプールには、なかなか行くことができませんでした。今年は正月なし、夏休みなしと、少しバテ気味ですが Healthy Swimmingでがんばります。

西 山 智 子 (昭57松蔭女短)

遂に私も六甲を離れ、華の独身生活にピリオドを打つ事になりました。東京での挙式が11月の為、慌ただしい日々を送っております。新居は、数年の予定で山口県ですが、驚くべき事に土井先輩のお宅と近所らしく、彼は私より先に土井先輩のお世話になっているそうです。

藤 田 弥 門 (昭57準)

8年振りに関西に戻って来ました。

杉 野 誓 (昭58工)

仕事に追われて(?)水泳の方は随分と御無沙汰しています。30才を機に、もう一度始めたいのですが……。

金 一 波 (昭59経)

本年は、国体(30才以上の部)に向けて真面目に努力しましたが、おしくも国体最終選考会で2位となり涙をのみました。来年はマスターズでがんばりたいと思っています。

長谷川 泰 造 (昭59工)

今年もとうとう一度も泳ぎませんでした。もっぱら陸のスポーツ(テニス、バレーボール)に熱中しています。すばらしい戦績、おめでとうございます。

長 崎 真 人 (昭59営)

育児に追われている毎日です。来年の夏は、一家4人で泳ぎに行きたいな、と思っています。

山 野 和 則 (昭59農)

今年は、けが、転勤、結婚で、ついに試合には出られませんでした。来年からは、またがんばるつもりです。当日は、夫婦で北アルプス登山を計画しておりますので、失礼させていただきます。

呉 竹 正 人 (昭59法)

春先の骨折以来、おとなしくしています。

南 谷 昌 宏 (昭60教)

中学生スイマーを相手に、多忙な毎日が水泳づけで過ぎていきます。当日も残念ながら欠席させていただきますが、諸先輩方によりしくお伝え下さい。

浦野 敏明 (昭60営)

今シーズンもマスターズ、事業団と出場でき、まだまだ泳げるぞと自分に言いかせています。そろそろ口先で泳ぐという技術もついてきました。

川島 えみこ (昭60教)

今年、念願の水泳部顧問となりましたが、部員の練習メニューはきびしく、陸上の自分にはあまく、をモットーにやっています。

太田 久美子 (昭61文)

卒業後まだ一度も月見の宴には行ってないかもしれません。今年も、やはり無理なようです。映画会社にとらば一ゆして3ヶ月。毎日、東京で刺激的に暮らしています。今年もごころうさまでした。来シーズンもがんばって下さい。

中川 善雄 (昭62工)

事務所移転して1ヶ月、ようやくナンバの雰囲気にも、御堂筋線の混雑にも慣れてきました。当日は、今年初めての屋外プールとなります。とても楽しみにしています。

後呂 忠詳 (平1経)

10/末~11/初にかけて転居予定。以後、埼玉県越谷市千間台西5-23-15となるはずです。連絡の際は宜しくお願いします。

木下 憲臣 (昭63教)

当日は運動会の為、出席できません。会の成功を祈っています。現役諸君、御苦労様でした。また顔を出させていただきます。その節はよろしく。

甲野 賢 (平1理)

現役の皆さん、近所にいながら援助一つ出来ず申し訳ありません。社会人生活が、サッカー野球、ラグビー等々充実しすぎて。今度、綱引きチームも結成しました。背筋215kg、垂直跳び83cm、瞬発力いまだとどまるどころを知りません。25才。当日は諸先輩方とお会いできる事を楽しみにしています。

近藤 直明 (昭63営)

今年もご苦労様でした。試合に足を運べず申し訳ありませんでした。結果は如何でしたか？小生、遅い夏休みのため出席できませんが(Saipanに居ます)。ご出席の先輩諸兄によりしくお伝え下さい。現役諸君、六甲祭で会いましょう。

坂田 亨 (昭63農)

15日は残念ながら欠席させていただきます(13日~20日まで東京へ出張のため)。皆様によりしくお伝え下さい。

井 口 恵 理 (昭63工)

4回生の皆様、御苦勞様でした。毎日、忙しいながらも元気にOLしています。日曜出勤の私としては、祝日の月見の宴はともうれしいのですが、友人の結婚式がありますので欠席させていただきます。今年は休みをとって、関ボロを1日だけ見に行くことができました。また行けるといいなって思ってますので、その時はよろしく。

植 松 忠 士 (平2工)

とりあえず試合日程も全て終了し、選手のみなさん、マネージャーのみなさん、おつかれ様でした。今年もひつこくクラブに入りびたってしまいましたが、最近は何をするでもなく、研究室でひまな時間を過ごしております。またレクリエーション(陸トレ)のときは、まぜて下さい。

奥 村 直 樹 (平1経)

毎日元気に働いております。しばらくは神戸市民の予定です。

守 沖 敦 (昭63法)

後輩の諸君に会うのが楽しみです。当日は一人で行くので、遅くまで付きあえるでしょう。なお、僕は昼のソフトボールにも参加するのでよろしく。

川 上 景 子 (平1教)

水泳の授業中、せがまれて100個人を泳いだところ、50をすぎた時点ですっかりバテてしまいました。子どもにはバれないと思っていたのに、「先生、平泳ぎで急におそくなったね」といわれ、ショックでした。すっかり水泳とは遠のいてしまいましたが、さみしいと思う反面、ふつうの女の子に戻っていくようでうれしい。現役の皆さん、なりふりかまわずがんばれるのは、今だけですよ!

楠 戸 祐 子 (昭60甲南女子大)

娘も1歳になり、育児に少し余裕が出て来ると、思い出すのは楽しかった学生時代の事。あ〜神戸へ行きたい、皆に会いたい、と思うけど、10月にまたも転勤となり、再び忙しくなりました。ということで欠席させていただきます。誰か寂しい私に連絡下さい!

高 元 智 子 (昭63準)

現役、OBのみなさま、お元気でしょうか? いつも試合を見に行こうとは思っているのですが、なかなか都合もつけられず、悪いOBやっています。またそのうちに遊びに行きますね。月見の宴は、残念ながら私事で欠席させていただきます。OBの方々、OB戦がんばって下さい。

マスターズコーナー

1989年度JMS短水路大会

短水路大会は昨年より3会場増え、北は北海道から南は沖縄まで、全国15の会場で開催されました。我が凌泳会は、関西勢は兵庫会場に、また関東勢は千葉会場に集まり、日頃練習の成果を遺憾なく発揮、それぞれ立派な成績を納めました。

◎兵庫会場

日時 平成元年4月9日(日)

場所 NASポートピア・プール

三宅さんは、宿敵安川氏に50平では金を奪われましたが、100平では見事に雪辱、堂々優勝されました。中井君は100背1本に絞って頑張りましたが、惜しくもメダルに届かず残念。実は昨年、この種目に出場者なく、絶対狙い目と勤めたのが仇となり、今年は何故かエントリー多く、しかも2位迄がマスターズ日本新記録という猛者揃いで全く歯が立たず。小生、今年はライバルを2人押さえての金で多少自信を付けました。上田君は、今年より30+にランクアップしたとはいえ、まだまだ激戦区、そのなかでの2位は立派。藤本さんは、2種目ともぶっちぎりの優勝、兵庫会場では当分敵無し之感。

とにかく楽しい一日でした。来年はもっと多数の参加を期待しております。

記

出場者及び成績

氏名	卒年	区分	種目	順位	タイム	種目	順位	タイム
三宅 林	(21学)	65+	50平	2	44-40	100平	1	1-40-56
中井 三郎	(27学)	60+				100背	4	2-14-41
石井 義章	(27学)	60+	50平	1	47-62	100平	1	1-50-02
上田 剛弘	(56営)	30+	25自	2	14-16	50自	5	30-77
藤本 栄美	(59準)	25+	50背	1	40-37	100個メ	1	1-26-38

参考(神戸新聞記事より)

当日の参加者数	男女合計	680人
マスターズ水泳短水路世界新記録		2個
マスターズ水泳短水路日本新記録		17個

(石井義章記)

◎ 千葉会場

日時 平成元年5月14日(日)

場所 柏洋スイマーズ南スクール

マスターズ水泳も年々盛んになり参加者激増、中でも我が凌泳会は14名の参加となり、大学水泳部OB会チームとしては他に例を見ません。55歳+の田淵先輩は、25背、50背に優勝、その上リレー3本にも出場、わずか3~4時間のうちに5レースをこなされ、そのタフネス振りは目を見張るばかりです。他の面々も益々ファイトを燃やし、神大水泳部ここにありと大いに氣勢を上げました。只、武政先輩が腰を痛み、応援と計時員サービスに回られたのが残念でした。

出場者及び成績

氏名	卒年	区分	種目	順位	タイム	種目	順位	タイム
田淵 五郎 (30管)	55+	25背	1	17-41	50背	1	36-44	
前田 和秀 (40法)	45+	25背	2	19-32	50背	2	43-70	
宮部 高博 (42文)	45+	25平	1	18-95	25自		15-03	
岩切 博 (46理)	40+	100平	1	1-26-13	200個メ	3	3-04-32	
佐敷 定雄 (49農)	35+	25蝶	1	13-86	50蝶	1	29-63	
富岡 洋三 (57管)	25+	100平	3	1-21-80	100蝶		1-33-13	
藤田 弥門 (57準)	25+	25平	2	17-14	50平	2	37-55	
太田 雅彦 (58農)	25+	100背	2	1-16-61	100個メ	2	1-16-27	
長崎 真人 (59管)	25+	25平	1	16-90	50平	1	37-39	
久保田勝己 (59経)	25+	50自		30-99	100自	3	1-06-56	
浦野 敏明 (60管)	25+	50蝶	3	33-26	100個メ	1	1-13-26	
安井 啓史 (63経)	25+	100自		1-10-59	400自		6-05-40	
近藤 直明 (63管)	18+	50自		29-36	100自	3	1-05-12	

100 mフリーリレー

160~199歳 (田淵 宮部 岩切 前田)	3	59-07
120~159歳 (太田 長崎 佐敷 久保田)	1	54-76
119歳以下 (安井 藤田 浦野 近藤)	3	53-57

200 mフリーリレー

160~199歳 (富岡 宮部 前田 岩切)	2-15-01
120~159歳 (太田 長崎 佐敷 久保田)	3 2-01-19
119歳以下 (安井 藤田 浦野 近藤)	2-00-68

100 mメドレーリレー

160～199歳(田淵 宮部 富岡 前田)		1-07-07
120～159歳(太田 長崎 佐敷 久保田)	1	58-36
119歳以下(安井 藤田 浦野 近藤)	3	1-02-43

200 mメドレーリレー

160～199歳(田淵 宮部 岩切 前田)	3	2-31-48
120～159歳(太田 長崎 佐敷 久保田)	1	2-08-19
119歳以下(安井 藤田 浦野 近藤)		2-20-35

(佐敷定雄記)

89日本マスターズ水泳短水路10傑入賞者

平成元年4月、5月、全国15の会場で実施されました。短水路大会の集計の結果、下記の方々が全国ランキング10傑に入られました。ここにご報告しお喜び申し上げます。

記

氏名	卒年	区分	種目	順位	タイム	種目	順位	タイム
三宅 林	(21学)	65+	50平	3	44-40	100平	2	1-40-56
中井 三郎	(27学)	60+	100背	9	2-14-41			
石井 義章	(27学)	60+	100平	10	1-50-02			
田淵 五郎	(30管)	55+	25背	6	17-41	50背	3	36-44
岩切 博	(46理)	40+	100平	10	1-26-13	200個メ	5	3-04-32
佐敷 定雄	(49農)	35+	25蝶	4	13-86	50蝶	1	29-63
太田 雅彦	(58農)	25+	50背	10	33-77	100背	5	1-16-61
安井 啓史	(63経)	25+	400自	5	6-05-40			
藤本 栄美	(59準)	25+	50背	5	40-37	100個メ	6	1-26-38
太田、長崎、佐敷、久保田	(120+)	200混継					1	2-08-19

以上

長距離リレー大会

(昭46理) 岩 切 博

5月2日、3日、国立代々木競技場内室内サブプールに於いて開催されました第5回マスターズ水泳長距離リレー大会に、昨年に引き続き出場致しました。凌泳会からの参加は小生只一人、少々寂しい思いでした。成績下記の通りです。

記

400 m個人メドレー	6-56-65	(2位)
800 m自由型	13-30-52	(8位)

以上

事務局交替のご報告

(旧・凌泳マスターズ事務局) 石 井 義 章

昭和60年凌泳会がマスターズに登録以来、小生が事務局を担当して来ましたが、次第にメンバーが増え、競技会に出場される方も多くなって来ました為、協会本部との連絡を密接に取る為にも東京に事務局を移したほうが良いと考えました。田淵君、佐敷君等に適当な方の推薦を依頼しておりましたところ、武政英幸君(昭39営)が引き受けてくれるとのことですので、平成2年度より同君にバトンタッチする事に致しました。

つきましては、本年度より会員登録、異動、各種競技会の問い合わせ等、武政君の方に連絡頂く様お願いします。会運営の基金である会費の払込、あるいは競技会のエントリー等、事務局に手間を掛けさぬ様ご協力の程お願いします。

凌泳マスターズの益々の発展を祈り、事務局交替のご挨拶と致します。

現役部員寄稿



突っ走れ

主持 当麻尚正

二つ言いたい。

集団に於て個人は、そこに埋没してはいけない。みんなは自分の存在価値というものを考えたことがあるか？ 自分がいなくなっても、その世界が変わらなかつたら、存在価値はないし、そのような人間が集まって集団を成しても、その集団の存在価値はゼロである。目立っている人間というのは、何かしら存在価値を持っている。今のクラブには、特に下級生には、目立たないようにしようとする風潮が見られる。私は目立たないよりは目立った方がいいと思うし、注目を浴びた方がいいと思う。今、個性がないと言われている時代に自分の存在価値を示す為には、他人と同じことをしては突出しない。出る釘は打たれるというのが、水泳部は、打たれる釘を求めている。

もう一つ。我々は、慣れ合いの集団ではない。勝つ為に泳いでいる。現状のままで満足せず、世間からみると、こっぴどかしい目標（神宮の覇者）に向って、血ヘドを吐くぐらいの努力をしなければいけないし、やる義務も持っている。何たって俺達は体育会水泳部なんや。一人一人が自覚をして欲しい。現状を突破し、他人より突出せよ。皆の健闘を望む。

「目標」

競泳主任 東 圭 紀

競泳の魅力の一つに、一人一人がそれぞれの目標を持ち、その実現に向かって努力できる点があると思う。世界を目標にして泳ぐのも一つのスタイルであると思うが、鈴木大地がソウルで金メダルを取った後も水泳を続けているところを見ると、それが競泳の究極の目標であるとも言えないと思う。

つまり、世界一、日本一、アジア一、いや神大一になれなくても、それぞれが自分の目標を持ち、それに向かって努力し、それを達成できればそれは素晴らしいことだし、大切なのは、そのために一生懸命になることだと思う。その努力こそが自己を向上させ、周りの人間をも刺激し、チームを活力ある強いものへと導くのだと思う。目標を世界新におくか、神大新におくか、自己新記録におくかは自由である。ちなみに僕の目標は、もちろん“バルセロナ”です。

水球への意欲

水球主任 笠田幸介

昨シーズンから競泳面と水球面が分かれ(両方面もいるが)、どちらか一方をとることが可能になったわけだが、水球を選んだ君達に3つだけ言いたいことがある。

まず、自発性、積極性をもって取り組んでほしい。それには、一人一人が「やる気」を持つことである。しかし、「やる気」は外から強制されるものではない。水球が好きだから、試合に勝ちたいから等、選手各々が動機を持っているから練習するのである。

君たちは、自分の意志で水泳部に入り、自分の意志で水球を選んだはずだ。

選手各々の自発性に欠けるチームは、決して強くなれないのだから。

次に「責任感」を身につけてほしい。我々は一人一人がアスリートであると同時に、一つのチームをつくっているメンバーでもある。従って、自分自身のプレーに対して、そしてチームに対して責任感を持たねばならない。すなわち、練習中でも、試合のときでも、自分の納得いくプレーを目指し、妥協せず、常に自分に厳しくなくてはならない。当然、自分の失敗を他に転嫁することは許されない。一方、団体が競技する上で各人に課された役割りを果たす、という責任も負う。時には、誰かがカウンターをかけられ抜かれた時にマークチェンジで対応するように、チームメイトの責任の一部を肩がわりすることも必要だ。

一人一人がこうした責任感を持ち、それを果たそうとすることもまた、チームが強くなるための不可欠な条件である。

三つめに、水球を「楽しんで」プレイしてほしい。どんなことでも楽しんで熱中できる者が、そうでない者よりも上達が早かったり、最終的に勝ったりする。このことはスポーツ以外にも当てはまるし、水球もその例外ではないはずだ。

楽しめる、ということは積極性にもつながるし、また、試合本番において精神的に優位に立つことの条件でもある。

確かに、プレーを楽しめるようになるためには、練習してある程度上手くなる必要があるかもしれないが、全員が水球を楽しもうという気持ちを持ってくれることを望む。

以上、抽象論ばかり述べてきたが、最後にもう一つ、口先で論ずるのはたやすいことだ。みんな、どんどん行動しよう。練習には必ず来い。 No pain, No gain.

MANAGEMENT

主務 三宅正樹

水泳部の行う活動は、「競技活動」だけではない。競技活動の他にも、小はプールの清掃から、大は大学当局や学連・水連との交渉に至るまでの、いわば水泳を行う環境を準備・維持する活動も、水泳部の行う活動の1つの柱である。この活動を「組織運営」と呼ぶ。神戸大学体育会水泳部に籍を置く者は全て、「競技活動」と「組織運営」の両方にあたらなければならない。

しかし、ここ数年の組織運営は、体育会の運営と呼ぶにはあまりにも情けない。仕事を任されても期日を守らなかったり、他人がしてくれることを期待して自分の分担を無視したり……。このように無責任で自分勝手な考え方が横行しているように見受けられる。

では、一体どうすればこれらのことが改善されるようになるのか。一般的に言えば、熱心に練習する者は、水泳部の仕事に対しても真面目であるように思われる。もしそうだとするなら、組織運営を円滑に進めるためには、部員全員が年間を通じて、積極的に練習に参加することが望ましいのである。

水泳部に対して、もっと情熱を燃やして夢中になれば、自ずと自分が何をなすべきか、深く認識されるにちがいない。



卒部の辞

(平2 教) 岡崎 憲之

どうしてもベストを出したい試合があった。平成元年7月9日の兵庫インカレ。試合で1500mを泳ぐのもこれが最後、という試合である。思い起こせば、高1の県大会に19分台で泳いで以来、20分を割ったことがない。1500mで20分を割りたい。その思いを胸に、冬を忍び、最後のシーズンを迎えた。1500mのレースでは、神大の新人藤本と、私と同様、他の種目ではとても生きていけなくなり、誰もがいやがって出ない自長に転向した柴田、そして、リクルート疲れのパミーがいた。

私と柴田の二人が同じ1組の隣り同士。私はいつものように、「最後にタッチしたあと、近藤さん泳ぎでもしょうか」などとギャグを考えながらスタート台につく。そして、白濁したプールの水が目の前に広がった。試合前の練習でも調子よかったので、これはいけるのでは、と思った。

1000mを過ぎる。濁った水のせい、隣りにいるはずの柴田が見えない。ターンをして、20m、30m、柴田はまだ見えない。勿論、他の選手も全く見えない(この時、柴田を含めた全ての選手が、制限タイムオーバーで途中で上げられたことを、私は知る術もなかった)。1300m、私はまだ気づかない。一時、スタンドが盛り上がっているのが見える。「もしや、20分が割れるのではないか」。1400mの鐘を受けながら、私は顔がニヤけるのを隠すことができなかった。そしてゴールイン。タッチして顔を上げた瞬間、拍手と歓声。「やっぱり、割れたんだ」—まだ気づいていない。ふと周りを見渡すと、誰もいない。プールサイドには、すでに柴田が立っている。「私は誰?」「ここは、どこ?」の世界だった。タイムを見ると、20分01秒。よくよく聞いてみると、私は独泳していたということだ。そして、その姿を兵庫県大学の水泳部全員が見ていたというのである。おまけに、独泳中には、「名前」入りで歌を歌って応援してくれていたというではないか。なんとおいしいことではないか。20分を割ることなどどうでもよくなった。それよりも、このことでチームの雰囲気になんか少しでも影響を与えることができたならば、それだけで意味があったのではないかと、思った。

長々と書き連ねたが、この試合は、私の4年間の水泳部生活を象徴しているかのような試合であった。

最後に4年間、いろいろとお世話になった先輩の方々、ならびにこんな私にもよくついて来てくれたかわいい後輩達、そして、陰ながら私を支えてきてくれた同輩達に、心から感謝の意を表し、卒部の辞とさせていただきます。

(平2 工) 小笠原 朝 隆

4年前、水泳が好きで、もっと速く泳ぎたくて、神大水泳部に入った。そして今、4年間の水泳部での生活が終わる。この神大水泳部で過ごした4年間は、10年間の私の競技生活のなかで最も充実していたように思う。そのためか、不思議と水泳には未練は感じない。

1回生の時からメドレーリレーのメンバーに入ることが出来、神大記録を更新することも出来た。嫌いだった水球でも、他校からマークされる程度の選手になれたと思う。「アイツは、もっと頑張れた」と思ってくれる先輩、あるいは後輩もいるかもしれないけれど、私には十分に満足のいくものであった。私自身、素質的に恵まれていたとも思わないし、中学時代は、自分でふり返っても「遅かった」と思う。

よく練習し、よく研究した結果が大学時代だった、という自負がある。水泳は私に、「やれば出来る」という自信を与えてくれた。人には誤解されがちですが、私は、練習嫌いなんかじゃないんですヨノ

最後になりましたが、わがままな私をいろいろと面倒を見ていただいた先輩、私のような男を競泳主任に推し支えてくれた同輩、一緒になって遊んでくれた後輩、個性あふれる人達との出会いを与えてくれた水泳には、感謝の気持ちで一杯です。

PS. 後輩諸君、努力と研究を惜しまずに頑張ってください。健闘を祈ります。

(平2 理) 是 枝 良 文

なぜ水泳部に入ったか? とよく尋ねられました。もっともな事だとおもいます。そして、その問いに対して曖昧な解答しか示す事が出来ませんでした。

もし、とてつもない力持ちの人がいたとします。その人は、その素晴らしい腕力を誇示することにより優越感を抱きます。何か一つ他人より抜きん出た領域があれば、それを軸にして生きてゆくことができます。しかし、力持ちの人は、自分の腕についての話を持ち込もうとしがちです。なぜなら、それが自分の土俵だからです。自分の土俵ほど居心地の良いものはありません。一方、その外では、存在感すら感じえない場合すらあります。自分の土俵は広いほど良いと思いました。従って、最も不得手な、馴染みにくそうな領域を選びました。

それが水泳部でした。この先、自分の全く知らない領域に入ってゆかなければならない状況に置かれた時、どのような心構えで、どのようにして挑んでゆくか、の訓練であったと思います。

現役の皆さんへ 自分の力を信じて、なおかつ謙虚に、おごりたかぶることなく研鑽して下さい。

(平2 教) 田 中 和 彦

入った動機が何であれ、とりあえずはがんばってみよう、と思って水泳部に顔を見せたのがちょうど4年前。水泳については、学校の授業でしかやったことがないという全く初心者であった僕が、競泳に水球にと、全国レベルの大会に出させていただいたのは、本当にありがたいことであると思っています。水泳部関係諸氏のみなさんに多大なる感謝を申し上げます。大学生活4年間は、常に水泳、もとい「水泳部」とかかわってきたわけですが、4年間、私をかわいがってくれた先輩方、共に歩んできた同輩のみんな、かなりわがままを聞いてくれた後輩、と、たくさんの友人を得たことは、一生の財産であると思っています。卒業後もこの関係を失わないように、と思っております。また、水泳部に残る現役部員には次の言葉を贈ります。「こいつがいないと水泳部は……」というものを何か一つ持つて!

(平2 法) 羽 瀬 智 文

とうとう私も卒業だ。卒部にあたりベンを取るにつけても胸に熱いものがこみあげてくる。ようやく水泳を体で感じるようになった矢先の引退で、何だかさみしいものがある。

この4年間、私の全ての行動は、何かしらクラブに関係していた。学連、コンバ、酒、女……、その他の事もすべてクラブ中心に回っていた。選手としての成績などとるに足りないものだが、確かに4年間、水泳部員だった。

とりわけ学連の幹部として外側から水泳部を眺め、本当の自分たちの姿に不満を抱いたり、心から応援できたのは、他の者には絶対できない貴重な体験であったと思う。他大学に知人もたくさんできた。そして、お粗末ながら関西の水泳界を管理・運営したという自信もついた。

クラブ内での出来事も数限りない。一、二回生の頃は部室に入りびたり、麻雀を打ちつづけ、昼休みには部室で弁当を食いつづけた。冬にはウェイトをやりつづけ、活動費稼ぎに朝刊を配り、麻雀でバイトし、沖縄にも行った。

何故かベストが出た市大戦、あやしげな替え歌、各大学のマネージャー、田中と兄弟と言われたこともあった。

カカロットと呼ばれ、変なおじさんと言われて、読んだジャンプは200冊。内気でまじめな私が、これ程アクの強い体験をすることが出来たのも皆、水泳部のお陰である。生意気な私に怒らずにいて下さった先輩方、本当にどうもありがとうございました。邪魔物は全て辞めさせてしまったにもかかわらず、私だけは見逃してくれた同輩たち、こんな私をよく先輩と認めてくれた後輩たち、そして、数々の貴重な体験をくれた我が神戸大学体育会水泳部、4年間、本当にありがとう。

(平2 工) 林 均

4年間、私を支えて下さった先輩方、同輩、後輩たちに感謝の意を表したいと思います。相変わらず生ぬるい性格をしておりますが、少しは人間がまるくなったのではないかと自分なりに考えてます。

水泳のことは他のみんなが書くだろうから、別のことを書きますね。自己嫌悪癖なんてないけれど村田くらい冷静に物を考えられたり、小笠原くらい自分の感情を表に出せたり、田中くらい面白かったり、岡崎くらい真剣に人のこと心配したり、当麻くらいオープンだったり、他にもいろいろ人を見て、自分にはないものをいいなと思ったことがたくさんあります。(名前をあげてない人、スネないように)。自分を思う存分表現できることは素晴らしいことで、本人にとっても気が楽なことでしょうね。そこで一つ、最初のうちのクラブ、みんなバリケードでしっかり自分を固めてしまってる感じがしません? もっと自分のケツの穴までさらけ出すくらいの気持ちでクラブに参加できたらいいのに。という自分も、しっかりとバリケードで固めてたうちの一人ではないかと思えます。大きな反省。

ほんとに4年間、ありがとうございました。街角で胸毛を見かけたり、部屋の片端にちぢれた毛が落ちていたりしたら、私を思い出して下さい。後は、私は応援するだけです。また遊びに行きますから、活気のあるクラブにしておいてくださいよ。

(平2 営) 古谷 拓裕

期待を裏切り続けてはや4年が過ぎ、とうとう卒部の辞を書く時がきました。

暴言とともに登場、わがままで、生意気で、好き勝手をしてきたこと、感情の起伏が激しく、時にはクラブの雰囲気をごん底に突き落としたこと、辞めると言いだしてみんなを困らせたこと、試合では全く良いところがないまま終ってしまったこと……。ありとあらゆることを反省し、申し訳ないと思っています。それと同時に、こんなどうしようもない自分を見逃すことなく、支えて下さった人々に深く感謝しています。

不運の連続でした。新歓コンパで玉砕し、3週間も再起不能に陥ったり、空巢に入られたり、父親が倒れたり、多額の借金で首が回らなくなったり……。思い出すだけでも情けないですね。

しかし、これだけは言えます。本当によく笑い、よく泣き、よく怒り、いろんなバカをやりました。それだけ水泳部に打ち込んでいたからだという自信があります。

バワフルで偉大な先輩方、口は悪いけど実はいい奴なのかもしれない同輩達、どうしようもなくバカだけど素直な後輩達と一緒に、一つのことがやれた水泳部が大好きです。

後輩諸君の健闘を祈ります。

(平2 営) 村田 功

4年間なんてあっという間のことだった。1回生の4月、初めて六甲台のプールを見たとき、あんまりいい気分はせんかった。しかし数ヶ月後には、僕の居場所はそこしかないことに気づき、そしていつしか六甲台のプールに来ることが楽しみになっていった。練習するのは大嫌いだったはずなのに。

4年のうち2/5ほど寝ていたことを除くと、残る大部分は水泳部に関連する生活だった。それは、ちょっぴり狭い世界の中にいた気がするが、水泳部という場を通じて、神大水泳部、他大学の水泳部、神大体育会の先輩、同輩、後輩、そして数年上のOBの人達と知り合えたのは大きな財産であった。泳ぐことをやめてまだ半年なのに、水泳で人と競っていたことなんて忘れてしまったけど、ただ目の前の人間と話していると、いつも同じスポーツを懲りずに毎日していたということを話し、また、そうしていたことを思い出す。

とにかく楽しかったらそれで良かった。他人に迷惑をあまりかけずに最大限に楽しむことが、常に目標だったように思う。正直いって、入部した時は成績などどうでも良かったし、練習は、いい加減に自分勝手にしていた。実際、勝つことが、Bestを出すことが最大の喜び、楽しみである、というあたり前のことに気づいたのは、上級生になってからかもしれない。でも、こんないい加減な人間でも、クラブに貢献したと勝手に解釈することになっている。

先輩は偉く見えて、後輩は1年遅く入部しただけなのに、どうしようもない奴に見える。この世界が好きだった。そういう中でワイワイしゃべるのが好きだった。それが大人数でも、たとえ2人でもである。そして、そうした場に一緒にいてくれた人達に感謝します。

(平2 教) 枝 澤 百合子

3年と数ヶ月、水泳部を続けて、水泳部員としての役目を充分果たしていない自分に苛立ちを感じなかった時はありません。練習、試合、部員としての義務でしたくない事、嫌な事は、自ら進んで実行しようとしていなかったのも、引退する今になって後悔しています。

ある競泳の試合の後にK先輩がおっしゃった言葉があります。泳いでいる仲間を応援することについて、仲間のbestを知らず、ただなんとなく声を出す応援は本当の応援ではない。仲間のbestを知り、lapを知っている上で、bestのlapより何秒速いか遅いかをcheckしながら応援するのが当然だ。ということです。

この頃は確か、応援の声は大きくても、「××、何秒で泳いどる？」と尋ねられて、答えを返せる者が少なかった時代でした。最近では、部員のtimeに関するinformationは充分に持っていますが、応援の声が小さいのか、又は応援に工夫が足りないのか、しばしば寂しさを感じます。自分が現役の間に本当の応援を実行すべきでしたが、大声を出すことに対して照れくささがあったので、い

つも男子部員の後について応援していたのです。今、心から仲間を応援することより、照れや恥ずかしさを優先していた事を悔み、これから現役の人達の応援が良い方向に変化していくことを期待します。

これは部員としての義務の一部であって、私が上級生になってからすべきだったことは、書きつくせないほどあります。現役部員の皆さん、嫌だとか、照れとか、shy などの一時的な感情に流されて義務を怠らないよう、自分が水泳部員である限り、たとえ幹部でなくても、すべきことがどれほど沢山あるか、又、それらを実行して当然である事を心に留めて、「～すべきだった」という言葉を引退後に残さないよう期待しています。



現 役 部 員 紹 介

毎度おなじみ2回生による現役部員紹介です。



(4回生)

井 上 達 晃；理4(生物)；背：六甲高

雑巾=赤いCR-X、ゴミ箱=合コンと、この成り立つように見えない等式を強引に成立させてしまったのが彼である。水球では、自慢の髯面で必殺はおずり攻撃をしかけてくる彼、そんな彼にもう一つの必殺技ができた。その名も「バスジャック」である。全国の時、遠征隊長の彼は、隊員一同を回送バスで目的地まで運ばせたのだ。こんなおちゃめな先輩ではあるが、バックメンのエースとして競泳面を支える一人である。今年もますますの活躍を期待しています。

笠 田 幸 介；法4：平：長崎青雲高

いつ見ても幸せいっぱいの顔をしておられる彼は、酒が入ると、ますますその幸せが全開になり、某うつのみ屋からとっくりをお持ち帰りになります。また彼は、「信じられん奴やのー」攻撃を得意技とし、コンバでは、この攻撃をもって我々をかわいがってくださいます。そんな彼は、水球とともに夜遊びが大好きで、夜、彼の家に電話をしても、妹さんしか出ることがありません。そんな彼も今年は、水球主任として、またブレメンのエースとして、名実ともに水泳部を支える大黒柱として、みんなに幸せをふりまいてくれるでしょう。

柴 田 英 之；農4(農化)；自長：金蘭千里高

彼の行動は、いつも裏目に出してしまう。高速に乗る金を惜しみ、国道を90km/hで走った末に罰金5万円ならびに免停をくらったり、水球への情熱を燃やしすぎたために高校生の肩をはずしたり。またコンバの途中、一休みするため外の芝生の上で寝ていたら、誰にも気付かれず、おいてけぼりをくらい、一人ですごすごと家に帰っていったり、団体行動が好きならば、一人遅れてグラウンドひかりで千葉に現れたり……。こんな不幸の標本そのものの彼ではあるが、今年は頭そのものを使うのではなく、頭の中身を使う名フロッターとして、水球のポイントゲッターとなるだろう。活躍を期待しますよ、柴田さん。

P S カナダへは自慢のカローラIIで行けません。

当 麻 尚 正；藤4(農工)；蝶：畷傍高

本来ならば彼の犯した罪の数々を書かねばならぬところではあるが、そのあまたの罪を発表してしまうと、私にパンチが飛んで来そうなので、やめておくことにする。彼の三種の神器

は、赤まむし、酒、牌である。

赤まむし……彼の場合、精力をつけるために飲むのではない。ただ単に生活が荒れているだけである。

酒………バツ全の時、観客席に一升びん片手に現れた姿におびえたのは、私だけではないはずだ。

牌………T氏が卒業された今となっては、我が部で牌を持たせて彼の右に出る者はいない。

そんな彼ではあるが、競泳、水球において安定した実力を発揮してくれるたのもしい主将である。

中 川 篤 俊；医4：平：葦山高

ゆっくりと行動する恐竜にとって、時間は他の生物よりも速く過ぎてゆくものらしい。その点、彼の人生は、他人には長そうに見えるかもしれないが、本人にとっては、けっこう短く感じているのかもしれない。ここで誤解をまねかぬようにことわっておくが、筆者はなにも彼が恐竜のようだと言いたいわけではない。むしろ彼は、「ババちゃん」という愛称でもうかがわれるように、オアシスのように平和であり、プロントザウルスのごとく穏やかだ。あら？

東 圭 紀；工4（建築）：個：桐蔭高

彼についての最初の印象は、「よっぱらうと怖い」だった。酒が入ると、人にかまむは、ビールをかけまわるは、人の家の電話を分解するは、いつも「わりい」の一言ですますので、誰にも彼を止められない。そんな彼でもしらふの時は、口下手なひょうきん者といった理解しにくい雰囲気がある。特に2回の女子メンと話すのが好きなようで、その時の彼の目は、いきいきとしたいやらしさにあふれていると言っても過言ではない。こんな彼ではあるが、泳ぎの速さはすばらしく、今年も競泳・水球ともに、ポイントグッターとしてしっかりと引っ張ってくれることだろう。しかし彼のギャグは高度すぎるので、それを理解する人はいない。

三 宅 正 樹；経4：平：摂叡高

彼の得意技は、「へえ、そうなん」と「いや、なんとなく」の二言で、他人の意見や文句を軽く流すことです。また、大阪芸人のド根性もかねそなえているらしく、おもしろくもないボケにも、いつも必ず「おいっ」や「んなことないやろ」と、ツッコミを入れてくれます。その他にも、彼は原チャリと命を共にしたいためか、自宅の十三から同志社大学の田辺プールまで、朝の早よから行ったというオチャメな一面ももっています。こんな彼ですが、努力

派なので今年も頑張ってくれるでしょう。(ここだけの話ですが、昨年、彼の口から最も多く出たのは、「まだです」の四文字だと思います)。

箕 朋 子；法4：背：豊橋南高

tightな外見からは想像もつかないパワーを秘めた彼女は、いつ見ても上機嫌。「あのPさんがね～」と、某2回生が呆然としてしまうほど練習熱心で、ニコニコと微笑みながら人を自分のペースにひきずりこんでしまう。そんな彼女が、この冬、いきなりおNEWのBIKEを購入したから、さあたいへん。「あのスローテンポのPさんが新車を買っても……」と思った人も少なくない。また、彼女は留年を計画中らしい。理由は、選手登録がまだ1年残っていて、試合で泳げるからだということだ。あの薄気味悪い六甲台プールで、いつも元気なPさんに今年も期待しています。ただ、夜に彼女の部屋へ電話をかけるのが、なぜかためられてしまう。

小 島 未 央；教4(初等)：マネージャー：長田高

「かけび一、一緒に走ろ一」。このセリフ、彼女の冬の定番である。高校時代、某運動部に所属していた彼女の体力は、はかりしれない。選手と共に走り、ベンチプレスまでやってしまう。まったくマネージャーの鑑としか言いようがない。しかし、なぜか病弱で、高熱を出すこともしばしばだ。「1週間ほどずっと寝込んでいたの」。このセリフも彼女の定番だ。ところが夏になると、「えっ、そんな一、私ったら昨日選手さん家に泊まって、私は全然覚えてないんだけど、朝までしゃべりつづけたみたいで…。悪いことしたみたいね…。」試合中、選手の体調を気づかう彼女の顔は、だれよりも真青であった。

戸 井 浩 子；教4(初等)：マネージャー：長田高

彼女は水泳部のマドンナである。後輩に対してだけではなく、同回生に対しても、寛大な優しいお姉さんの様に接し、また、その様に慕われている。「戸井ちゃんは？」という4回生の声を聞くことで、その偉大さは理解できるだろう。彼女のまわりには、彼女を崇拜し、彼女と話したいと願う人々がいつもあふれている。その慕い寄る図は、あたかも宗教画のように筆者の心を暖めてくれるのだ。これも彼女の徳と、巧みな話術のなせる技であろう。しかし、彼女がいつも不機嫌そうに見えるのは、筆者の目の錯覚であろうか。

(3回生)

青 木 浩 介；経3：個：小倉高

コンパではその実体を消し、酒が入ると腰がヒクヒク脈うつ、と言われる彼。彼の貧困生活は目をおおうばかりで、彼に昼飯をおごってもらうことは、大洋が日本一になるくらい難し

いといわれている。また、彼には2つの姿がある。一つは、六甲台プールで他人に惑わされることなく、常に黙々と練習を積み真面目な姿。もう一つは、大阪は道頓堀のかに道楽の左ななめ前で、雨ニモマケズ風ニモマケズ太鼓をたたいて、客寄せのバイトをしているというひたむきな姿である。人は、彼のその姿を「くだおれ」と呼ぶ。そんな彼であるが、今年、水球における3回生のエースとして安定した実力を発揮してくれるであろう。

一 越 健 治；経る：水球：奈良学園

そう、彼の名は「〇×越」。その名のとおり「滝のような〇×」「〇×の海」「〇×地図」といったあらゆる「〇×術」がおできになる〇×男なのです。また彼は、財団法人3B連盟にも加盟しておられ、先輩、同輩、ひいては後輩から散々Bにされても、ボケた微笑で「へー、そーですかー？」とBる。彼の反射神経には目を見張るものがある。例えば右の耳に「B」と言ってあげると、いったん左の耳から外へ「B」が漏れる。そして、その漏れた「B」を両耳から彼の脳ミソがようやくキャッチし、大脳で3回、小脳で2回お考えになり、そして口がひらいて、いつものようにBる。そんなBと言われる彼も、ひたむきに練習をなさる姿を見て、秘かに彼を慕っている後輩も多いとか。先輩の〇×はどんな色？

② 〇×及びBには、カタオナ2文字がはいります。

井 上 聡；エる：自短：北須磨高

4回生と間違えてしまうその風格。「二足歩行する野豚」と見間違いそうな体型。この2つで彼の紹介は終わってもかまわないと思うが、これだと文句を言われそうなので続ける。実は、みんなは彼を誤解している。CHECKERであるのは事実だが、愛車EDで神戸の街をかつとばすなど第一印象とはうってかわり、LIGHTでSWEETでDELICIOUSだ。なんのこっちゃ。つまり直訳すると、太っている割には泳ぐのはとても速くてうまい。今年、弱退しつつある競泳面を引っ張ってくれるだろう。

小 南 裕 明；医る：蝶：桐蔭高

練習中の彼を見る者は、昔日のスイマーの怨念が乗り移ったかとの錯覚に陥ることもしばしばである。全ての練習メニューをバタフライでこなす彼に驚異の目を向けない者などいないわけがない。こんな彼の戦闘力は一万以上。そう、彼はサイヤ人。界王拳と元気玉を使う孫悟空が現れないかぎり、彼の行手に敵はいない。そんな彼も、去年は地球風邪にやられ、今一つ暴れられなかった。今シーズンこそ、地球征服をなしとげるだろう。そんな彼もお酒が好きらしく、コンパでは同回生のIさんと死闘を演じるなど、くだけた一面もみせてくれる。「名谷に行かないで〜」という女子メンの声が彼の耳にとどくだろうか。

城 一 男；営 3：水球：戸畑高

彼は偉大である。人に何を言われようが、ひたすら自分の信じる道を歩み続ける。また、彼は恐ろしい。彼をおこらせると相手にされなくなる。なんといっても彼は城一男なのだ。めでたくも酒屋で生まれた彼は、酒好きでないように見えるが、実は、底なしとうわさに聞く。また保険成金の彼は、昨年の暮れに車を買ひ、今年は酒と車で大暴れし、「暴れん坊城君」の名をほしいままにするであろう。そして今年は、水球でも一暴れしてくれるでしょう。

染 谷 光 裕；理 3：水球：住吉高

巷では「お○なの達人」と噂されている彼。体育会には似合わないソフトなイメージの彼ではあるが、水泳部の要注意人物の一人である。その道のプロと呼ばれる彼が、人の好い笑顔でだましたお○なは数知れず、泣かせたお○なは星の数。彼を甘く見ると後で痛い目にあうというのは、すでに周知の事実である。一見、影の薄い存在のようで、実は、水泳部の影の支配者。昨年は、私生活の乱れのためか肺炎を患ったが、今年は、体調も万全。公私ともにますますの活躍が期待できるだろう。

高 岡 英一郎；工 3：蝶：新居浜西高

一昨年、ライオン丸の起こす嵐のごとく暴れまくった彼も、昨年は皆の期待を大きく裏切りまるで隣りから借りてきたダチョウのようであった。そして彼には、六甲嵐が肌身にしみる秋がやって来た。OFFシーズンは六甲台でみかけることはまずない、とまで言われた彼はなぜかこの冬、教養部でよくみかける。ただ、寒さに丸くなった彼の背中に、男の哀愁を感じずにはいられなかった。しかし、マハラジャ系の顔のせい、陰では女性に人気を博している。そんな彼も、夏が来ればきっと復活し、周りを驚愕させたバイオレンスぶりを再び我々に見せてくれることだろう。

安 居 武 彦；法 3：水球：西宮高

かつてはエンドレスナイトの追っかけでならした彼であるが、今ではそれも卒業したらしくだまってさえいれば一般人に見える。しかし、一度口を開いてしまうと、やはり彼は3Bの一人だったのだと納得してしまう。ウイंकがレコード大賞をとった時の彼の喜びようといったら、阪神が日本一になった時の阪神ファンに勝るとも劣らないものだった。このようにミーハーそのものの彼だが、練習熱心であることをつけ加えておこう。私は、彼が講師をしている塾の子供たちが、かわいそうでならない。

六甲台プールにWaterpolo polo病をはやしたのは、彼です。

山 崎 秀 樹；法 3：自：清風高

彼には大脳がないために、聞いたことを背髄で理解し、すぐ返答する。そのため、言っ

いけないことを堂々と言ってしまったり、単なるいいかえであったりして、的を射た答を彼に期待するのは酷である。暗がりではまず発見されない黒い肌、色盲としか思えない服のセンス、どこをとっても、とてもまねができない。このように独特の雰囲気なまきちらしている彼ではあるが、応援には欠かせない。試合で彼が応援する姿に、秘かに涙したのは筆者だけではあるはずだ。とにかく不可解な先輩である。

小 澤 佳 代；文る：マネージャー：四日市南高

「私ってナマキズが絶えないの」と言っている彼女は、この秋、自動車免許を取得してしまった。歩いていても、原チャリに乗ってもケガをしまくる彼女が、自動車に乗るなどとは言語道断。もし彼女が車に乗って神戸を走れば、街には戒厳令が出され、さながら死の街となり……、これ以上の想像を私は拒否したい。そして今は、ただ「私1回だけしか試験に落ちなかったのよ」という彼女の言葉だけを私は信じたい。そして、あとは祈るばかりである。余談ではあるが、「僕は小澤さんのエッチな唇が好きです」と言っている奴を、私は知っている。

宮 下 静 子；教る：平：四天王寺高

ますます貫禄をつけた彼女は、はっきり言ってみんなの人気者である。一時は、お昼どきに教養の食堂で彼女を探すことが某2回生の日課だったほどだ。また、先輩方の罵倒雑言にも気丈に耐えるクナグな人だが、実は、基本的に気にかける暇がないほど忙しいだけだという説が有力である。女子メンのエースでありながら、月収20万という高所得を誇る手腕は、ただ者ではない。こんな彼女が自分よりデカイ後輩の登場に思わず涙したことを知ってか知らずか、皆は彼女を「デカ女」と呼ぶことをやめない。ひたすら不幸な人である。しかし、この意見に誰一人同意してくれる人がないのは、いったいなぜだろう。

村 本 由里子；営る：自：光丘高

彼女の事を、かよわいとか繊細とか考えていると、痛い目にあう。「こいつ酒に強いねんぞ」という声を、私は村本さん以外の全ての先輩の口から聞かされた。酒好きということのみならず、彼女はまた、無類のカラオケ好きでもある。コンパの後、朝までマイクをキープして歌いつづけるその姿は、ただの宴会女としか思えないが、やはり彼女は、平生はおっとりした優しい先輩で、同回生からも「姉貴」「姉御」と慕われている。また学部では、ゼミのコンパで「UFO」を踊ったということも手伝ってか、非常におもてになるそうだ。

山 口 明 子；営る：マネージャー：長崎西高

自分で自分の事を「あっちゃん」と呼んでいる彼女は、大きな声では言えないが、お金があまりかからない。だいたいの事は通常の半額で足りてしまう。彼女の外見と話す言葉から、

大学生らしさは微塵も感じられない。一部の2回生からも「あっちゃん」と呼ばれていたりして、慕われてんだか、なめられてんだか、よくわからない。しかし、こんな小学生みたいな彼女でも、ある方面では、ためになる体験談や教訓を聞かせてくれたりする頼もしい先輩なのです。まあ、よく言えば純な心を持ちつづける女性、悪く言えば耳年増の小学生である。
んにゃ!

(2回生)

家門 秀行;理2:平:宝塚北高

どこにでも一人はいる博識でマメなタイプの奴だと思っていたら、実は、普通、どこを探してもいない、超ウルトラスーパーマメ男だった、というのが彼である。女子メンが立場を失くすほどの料理の腕前といい、コンパで一次会の後、一度宝塚へ帰って着替えをすませてから“かっぱ”へやってくる伊達男ぶりといい、彼に関しては他人が口を出す必要はないし、実際、自分でしゃべるしゃべる。他人の言うことなんか、まー聞いちゃいねえ。生まれた頃から酒びたりに、いつのまにか今のフケ顔になり、歳男(35~36)ぐらいに見られてしまう悲しさである。そんな彼だが、周囲が女の話を始めると、なかなか会えない彼女を思っているじけつてしまい、そのスキを狙った先輩に彼女の写真を奪われて、人目にさらしてしまうというような醜態も時には演じてしまうようだ。

下坂 浩;理2:水球:成蹊高

彼は、水泳部で一二を争うわがまま息子である。自称2.5回生だけのことはある。仕事はしない、練習には来ない、そのくせ先輩にたかる。たまに練習に来てはメニューにケチをつける。デートが主、クラブが従。人妻を口説く。関ボロには遅刻し、ハゲな服装であられる。その他、多大なる迷惑を我々にふりまいてくれる。しかし試合となると、これがけっこう頼れるフローターバックだからなおさら腹が立つ。こんな彼でも、秘かに泣き上戸であるという説有力(ゆうりき)。どー思うよ。

富村 英三;営2:背:明星高

その昔、男子校で暗い3年間を送ったという彼も、今や夜になると、その回りに4人の女をはべらすという豪傑にまで成長した。そんな彼には、双子の富村物語があるという。自分の分身を自由に操り、分身を学校に派遣する一方、自分は奈良でせっせと自動車学校に通っていたという。また、彼は近鉄の大ファンであり、近鉄がリーグ優勝を果たした時には、朝まで枕を濡らしたという。そしてまた、彼は近鉄同様、酒井のりこのファンでもある。教養でのりびー(に似た子)を見つけては、「今、1秒目が合った」などとほざいている。そんな

彼であるが、カラオケで「僕笑っちゃいます」を歌わせると、まわりの人々をうっとりさせる不思議な才能を秘めているのである。

中 畑 寛 之；教2：自：豊橋南高

亀の甲より歳の功。「先生」「長老」といった尊称をもち、3つの入試制度を股に掛けたつわものである彼は、我々との対話で世代の断絶を感じると、「近頃の若いモンは……」「いい若い娘が……」などのセリフを口にする。また彼は、かまぼこ級の貧乏で、下宿にはテレビも冷蔵庫もない。彼が自分の金で神大ランチを食べる姿を見たものは誰もいない。だが、彼の女性遍歴は華麗で、両手両足で数えきれないらしく、現在「21人目の女」をさがしている。こんな彼を我々は「お父さん」のように慕っている。こんな彼も「教育学部では高山病にかかる」と恐れ、文学部転部をめざしているという。

藤 本 克 彦；農2：平：畝傍高

彼の本名は、バリ男。苗字がバリで、名前が男。年賀状がバリ男で届くから、まず間違いない。バリ男は、その名の通り無作法で野蛮である。人の顔を見るなり、「クレープおごってー」「肉まんおごってー」と、乞食にも等しい真似をする。こんな生まれもってのいじきたなさを競技においても遺憾なく発揮し、あらゆる困難に立ち向かっていく。また彼の表情はイヌのようだ。これも試合に役立つ。なぜなら、一見、いつもムスッとしていて、何を考えているか敵には解らないが、我々飼主には容易に理解できるからだ。このように無限のパワーを秘めた彼には、彼女がいない。そのため心は、いつでもWinterである。しかし最近、きれいな売り子のお姉さんに会うために、マクドナルドに足繁く通っているという。

藤 本 博 之；教2：自長：三田学園

2回生の中で一番真面目で内気で大人しい、というのが昨年5月までの彼の印象だった。この大きな誤解が解けるキッカケとなったのは、彼が男の純情を捧げて十数年、某外大の尚子さんの存在が明らかになってからであろう。捨て猫に藤本尚子と名付けたり、恋患いのため1年間で14キロもやせてしまった三ちゃん。彼の一途な思いは、初めこそ皆の同情を引いたが、今では単にからかいの種にすぎない。もう一つ、彼の印象を根底から覆すキッカケになったのは酒である。いつも酒に飲まれる彼は、コンパのたびにそのアブナイ性格が暴露され、市大の女の子に抱きついたり、一橋の女の子に膝枕をしてもらったりと、数々の狼藉を働いている。そこで一大決心をした彼は、毎晩缶ビールを一本あけるという、ハードなトレーニングを重ねているらしい。また、彼は25才で結婚するらしい。花嫁はウェディングドレス、自分はタキシードをキメて結婚式を挙げるのが彼の希望であるが、筆者は、ぜひともそこで酔いつぶれて“浪速人情ラムネの玉やんの歌”を歌い狂っている三ちゃんを見たいと思う。

井上 優子；文2：自：彦根東高

身長57m、体重550t。六甲台から下宿まで半歩で充分とか、富士山でつまづいて東京タワーで頭をぶつけるとか、横になると北海道から九州までであるとか、アキレス腱を伸ばそうとして後ろの家を踏み潰した事があるとか、その悲劇的なまでの巨大さを表現するのに惨々ひどいことを言われている彼女。その彼女は、さきごろ大阪に上陸したゴジラとの一戦に備えて準備に余念がないらしい。そう、彼女の正体はピオランテ。初めはピオンディからとったニックネームの「ピオちゃん」も、いつのまにか怪獣ピオランテに成長してしまったのだ。しかし、こんな彼女でも、家財道具に名前をつけるなど、かわいらしい事をしているのは、あまり知られていない。

中尾 幸子；文2：自：府立天王寺

同回生Iと同様に彼女もかなりデカイ。文学部に身長制限があるという噂は、本当だったようだ。また彼女は、デカイだけでなく強い。その力は、発車しかけた終電を「その電車まってー」の一言で止めてしまう程だ。初心者でありながら、朝10時の練習に間に合いそうもないから、と言って阪六のトイレで着替えてしまうなど、水泳部最強の女となってしまった。ところが、というか、やはり、というか、彼女は女でありながら、飯を食うことに関しては彼女の右に出るものがおらず、飯をつくるということに関しては、彼女の左に出る者がいない。炊飯器の使い方はおろか、米を研ぐということすら知らなかった彼女に、声も出なかったのは筆者だけではあるまい。何かと笑わせてくれる彼女だが、2回生の中で最も恐れられている人物は、何をかくそう、彼女である。

中山 祥子；法2：自：豊中高

不祥事の祥に子と書いて「さちこ」と読む彼女。一見、いつもニコニコしていて、話しかけると「こいつ、俺に気があるんじゃないか」と思わせる身ぶり口ぶりで対応してくれるなどごく普通の、かわいい女の子である。しかし、俺はもうだまされないぞ。彼女の悪魔の微笑みにつられて、うっかり自分の秘密でも喋ってしまうものなら、それは、あっという間に神戸中、いや、世界中に広まり、笑い者になってしまう。但し、彼女は、決して自分の事については本当の事を言わない、という噂もあるが、本人は否定している。そんな彼女の性格を一言で説明すると、「自分に火の粉がかかる前に他人に火をつけまわる娘」である。その他、自宅が大阪府池田市のくせに殆ど寄りつかないとか、全く親不幸な娘である。

吉元 佳津子；工2：マネージャー：中津南高

近ごろ人気がこのほりの彼女は、Mさんのファンです。熱帯雨林のようにそびえたつ2回生陣の間で、コロボックルのような存在している彼女ではありますが、ふとしたことから大

切な練習をパスして、男の子と三宮のおいしいケーキを食べに行ってしまうなど、その行動力は侮れない。やはり、チアのOGのお姉さんを持っているからであろうか？ ストップウォッチを持たせれば、バチンコのプロのよう。水球キャップを縫わせれば、包丁をとぐ鬼ババのような彼女のまじめなマネージャーぶりは、「私に話しかけないで//」の一言で終わる。

魚住 香子；マネージャー：神戸女

なかなか化けの皮はがれない彼女は、もしかしたら筋金入りのお嬢さまかもしれない。なんせ中学から大学まで神戸女学院。彼女の入部に際して、みんなが抱いていたイメージはどのようなものだったか……。しかし、入部当初からそのイメージを打ち破らんばかりの強者ぶりを発揮し周囲をおびやかせ、いや、おどろかせています。彼女がこれほどまで水泳部にはまってしまったなんて誰が予想できただろう。初めて見学に来た時以来、「水泳部は 囲気がいい」とか「楽しそう」とか「先輩が優しい」などと、いたくクラブがお気に入り、その言葉通り、すっかり、しっかり、どっしりと根を下ろしてしまったのである。しかし、彼女が入部した本当の理由は、未だ明らかになっていない。



1989年度 活動報告

前年度、関西インカレ2部優勝、1部昇格、全国国公立で6位入賞と、すべり出しはよかったが、後半、70年近くの歴史を持つ対大阪市大戦水球の部での初の敗北、近国体では、またしても優勝を逃がし、全国インカレ(水球)では、専修大にコールド負け。やはり多くの課題を残し幕は閉じた。

冬季は、11月初めまでウェットスーツを着用し、六甲台プールにおいて水中練習、それ以後は、神戸イトマンでの練習と並行して、ランニング、ウェイト、サーキット、球技、etcと基礎体力及び球技センスを身につけるための陸上トレーニングを実施した。この冬は、出席率向上の一助として、自由選択の週休2日制を導入した。つまり、自分の都合の悪い日(例えば4限目に必修科目がある日)を休日とし、そのかわり、絶対に練習に参加できる日を自分で指定する、という制度である。この制度のおかげで、かなりの出席率を確保することができた!?

年が明け、試験休みをはさんで、3月下旬から早くも六甲台で泳ぎ始め、ブレイトを持った巻き足強化からフォーメーション練習までこなした。3/27~4/1には、OB金氏の御尽力で、もう恒例となった京都府レイクフォーレストリゾートでの春合宿を終え、泳ぎ込みも十分。

4月には、待望の水球経験者を含む有望な新人を男女とも迎え、新たな戦力を加えて、いざ出陣。今年こそ、こ・と・し・こ・そ・は、関ボロ優勝、まずは、これしかなかった。……果たしてその結果は……?

(岡崎 記)

3月下旬	春季合宿	京都府レイク・フォレスト・リゾート
5月13日	新入生歓迎コンパ	六甲台生協食堂
5月21日	凌泳総会	六甲台教官食堂
6月4日	京阪神三大学戦	同志社大学プール
6月10・11・17・18日	関西学生水球リーグ戦	大阪市大プール
7月9日	兵庫県学生選手権	西代プール
7月15・16日	関西国公立戦	大阪府大プール
7月23日	旧三商大戦	大阪市大プール
7月28~30日	関西学生選手権	大阪プール
8月2・3日	全国国公立大会	千葉県総合運動場
8月13日	対大阪市立大戦	六甲台プール
8月21・22日	近畿国立大学体育大会	神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

9月2・3日	関西学生水球リーグJr戦	大阪市大プール
9月15日	月見の宴	六甲台プール
11月11・12日	六甲祭	
12月9日	追い出しコンパ	六甲台生協食堂
1月7日	初泳ぎ	県立健康センター

京阪神三大学戦

平成元年初の競技大会である。試合会場となった同志社大学のプールは、真ん中でターンをしてしまいそうなくらい澄んでいて、「これが大学のプールだ」と言わんばかりの美しさであった。六甲台のプールにも免疫ができ、緑がかった水に何の躊躇もなく入れるようになっていた自分を改めて感じずにはいられなかった。

また、初心者の僕にとっては、生まれて初めてのレースである。当然この日は、朝から緊張の連続であり、この日まで、200mを通して泳いだことがなかった僕は、マラソンにでも出るような気持ちであった。みんなの応援が遠かった。スタート台に立つ僕の足が、微かに震えるのを感じた。逃げ出したかった。

ピストルの音が静寂を破った。夢中だった。ゴールの瞬間、緊張の糸が切れた。今まで聞こえなかった応援が、急に近くに聞こえるようになった。プールから上がった僕に先輩方が言って下さった、「よく頑張った」という一言で、体中の疲れが抜けてゆく思いであった。

僕の記念すべき第一戦は、先輩方の力泳のおかげで見事に優勝を勝ち取ることができた。この日は人生における最良の一日として、いつまでも忘れることはないだろう。

(家門記)

★京阪神三大学対抗水上競技大会		平成元年6月4日(日)	於・同志社大学プール
• 100m 自由形		• 800m 自由形	• 200m 背泳
中畑 1-03-6 (2位)		岡崎 10-46-2 (3位)	井上(達) 2-34-9 (2位)
田中 1-05-7 (4位)		藤本(博)10-47-1 (4位)	村田 3-08-1 (5位)
染谷 1-05-7 (4位)		柴田 11-24-9 (6位)	富村 3-11-6 (6位)
• 400m 自由形		• 200m バタフライ	• 200m 平泳
井上(聡) 5-07-8 (2位)		小南 2-18-8 (1位)	林 2-49-7 (1位)
羽瀬 5-19-1 (3位)		高岡 2-53-6 (5位)	笠田 2-51-5 (2位)
			藤本(克) 2-53-7 (3位)

• 200m 個人メドレー
 東 2-28-8 (1位)
 当麻 2-33-1 (3位)
 小笠原 2-49-2 (6位)

• 400m 個人メドレー
 当麻 5-29-2 (1位)
 古谷 5-30-7 (2位)
 藤本(克) 5-58-6 (6位)

• 400m メドレーリレー
 井上(達)、藤本(克)、小南、
 藤本(博)
 4-47-0 (1位)

• 800m リレー
 藤本(博)、井上(聡)、東、
 小南 9-26-6 (1位)

• 総合
 1位 神戸大学
 2位 京都大学
 3位 大阪大学

関 西 口

油断というものではありません。練習の手を抜いていたわけでもありません。先輩方には、ただ頭を下げるだけで、言いわけをするつもりもありません。私にだってわかりませんよ、昨年のJr. はダントツの2位だったのに。ただ、私が肌で感じたことがあります。うちのクラブがバカになれなかったこと。練習中に練習のことを考えていた者が多かったこと。自分を犠牲にすることができない者が多かったこと。この史上最低の水球主任の言うことはたった一つ。練習中に、試合に勝つことを考えよう！

しかしなあ……、今でもオレはくやしいぞ。くやしいぞ！ くやしいぞ！！

(林 記)

★ 関西学生水球リーグ戦

平成元年6月10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日) 於 大阪市立大学プール

神戸大	Q	京都教育大
6	1	1
8	2	0
6	3	3
8	4	3
28	計	7

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1. 笠田 | 6. 下坂 | 11. 古谷 |
| 2. 東 (8) | 7. 染谷 (2) | 12. 小笠原 (1) |
| 3. 当麻 (1) | 8. 安居 (3) | 13. 林 (2) |
| 4. 井上(達)(3) | 9. 田中 (3) | |
| 5. 西島 (6) | 10. 三宅 | |

神戸大	Q	大阪大
1	1	4
1	2	1
2	3	4
3	4	3
7	計	12

1. 田中
2. 岡崎
3. 村田
4. 西島 (3)
5. 林 (1)
6. 小笠原 (3)
7. 古谷
8. 羽瀬
9. 東
10. 当麻
11. 井上(達)
12. 安居
13. 笠田

神戸大	Q	立命館大
4	1	1
4	2	2
2	3	1
4	4	2
14	計	6

1. 田中
2. 岡崎 (1)
3. 村田
4. 西島 (1)
5. 林 (4)
6. 小笠原 (4)
7. 古谷 (1)
8. 羽瀬
9. 東 (1)
10. 当麻 (1)
11. 井上(達)(1)
12. 安居
13. 笠田

神戸大	Q	関西学院大
2	1	2
0	2	3
4	3	2
2	4	1
8	計	8

1. 田中
2. 岡崎
3. 村田 (1)
4. 西島 (3)
5. 羽瀬
6. 東 (1)
7. 小笠原 (1)
8. 笠田
9. 井上(達)
10. 是枝
11. 柴田
12. 古谷
13. 林 (2)

神戸大	Q	大阪市立大
2	1	3
3	2	2
0	3	2
0	4	2
5	計	9

1. 田中
2. 岡崎
3. 村田
4. 西島 (3)
5. 羽瀬 (1)
6. 東
7. 小笠原 (1)
8. 笠田
9. 井上(達)
10. 是枝
11. 柴田
12. 古谷
13. 林

神戸大	Q	京都大
2	1	4
1	2	4
0	3	4
2	4	1
5	計	13

1. 田中
2. 岡崎
3. 村田
4. 西島 (1)
5. 羽瀬
6. 東
7. 小笠原 (2)
8. 当麻
9. 井上(達)
10. 是枝
11. 柴田
12. 古谷
13. 林 (2)

• 総合

- | | | | |
|----|--------|----|--------|
| 1位 | 京都大学 | 4位 | 大阪市立大学 |
| 2位 | 大阪大学 | 5位 | 神戸大学 |
| 3位 | 関西学院大学 | 6位 | 立命館大学 |

「口笛吹いて～西代へ行った～」

兵庫インカレ

例年よりも少し遅めの7月9日、相変わらずの雨模様の中、兵庫インカレは行われた。

本格的な競泳シーズンの幕明けであり、関国、関カレへのステップとして、また、兵庫での王座を不動のものとするためにも、是非とも優勝したい試合であった。

その結果、男子は、2位の関学と28点の差をつけて堂々の優勝。女子は、最初に400混継で失格してつまずいたものの、200継で3位入賞を果し、個人種目でも、捨て身の100バタ攻撃などで点を積み重ね、総合4位ではあったが、大健闘であった。

今回の兵庫インカレは、結果的には楽勝ではあったが、終始ひやひやさせられた。その原因としては、神大得意のメドレーリレーでの敗北、エース東の不調、リクルート疲れの古谷、などが考えられる。精神的に優位に立って、楽に試合を運ぶためにも、取れるところでは、確実に点を取ることが必要である。チームの一人ひとりが自分の役割を自覚して試合に臨むことが、いかに大事であるかということに改めて実感した。

女子に対しても、厳しく言えば、一人の強い選手で点を取るチームではないのだから、他人任せではいけない。女子全員まだまだ伸びる(身長ではない)。壁にあたるのはまだ早い。200継3位の喜びを忘れないでほしいものだ。

ちなみに私は、この試合で、兵庫では少しは名の通る選手(卒部の辞参照)となった!?

(岡崎 記)

★ 兵庫県学生選手権水泳競技大会 平成元年7月9日(日) 於 西代市民プール

〈男子〉

• 50m 自由形

田中 28-06 (5位)

中畑 28-75

中川 31-22

• 100m 自由形

井上(聡) 1-00-61 (3位)

中畑 1-01-03 (5位)

• 200m 自由形

井上(聡) 2-14-0 (1位)

染谷 2-27-7

安居 2-29-5

• 400m 自由形

古谷 4-50-8 (3位)

藤本(博) 4-51-1

是枝 5-52-6

• 1500m 自由形

藤本(博) 19-11-1 (3位)

古谷 19-51-9 (5位)

岡崎 20-09-86

• 100m バタフライ

小南 1-04-0 (1位)

高岡 1-07-2 (5位)

城 1-38-0

• 200m バタフライ

小南 2-21-6 (1位)
高岡 2-34-4 (6位)
岡崎 2-42-8

• 100m 背泳

小笠原 1-07-9 (3位)
井上(達) 1-10-8 (4位)

• 200m 背泳

小笠原 2-30-4 (2位)
井上(達) 2-31-4 (3位)

• 100m 平泳

林 1-13-7 (1位)
藤本(克) 1-20-1

• 200m 平泳

林 2-45-4 (1位)
笠田 2-50-7 (4位)
藤本(克) 2-52-8 (6位)

• 200m 個人メドレー

当麻 2-30-7 (2位)
東 2-32-37 (4位)
村田 2-40-7

• 400m 個人メドレー

東 5-19-4 (3位)
当麻 5-19-7 (4位)
村田 5-52-0

• 400m メドレーリレー

小笠原、林、小南、東
4-25-37 (2位)

• 800m リレー

東、当麻、井上(聡)、小南
8-59-3 (3位)

• 総合

1位 神戸大学 107点
2位 関西学院大学 79点
3位 甲南大学 69点
4位 神戸商船大学 53点
5位 神戸商科大学 21点
6位 兵庫教育大学 10点
6位 神戸学院大学 10点

<女子>

• 50m 自由形

枝澤 35-08
北岡 38-45

• 100m 自由形

宮下 1-15-3
井上(優) 1-17-9

• 200m 自由形

枝澤 2-56-0 (6位)
井上(優) 2-57-1
中山 3-07-1

• 400m 自由形

中山 6-38-8 (5位)

• 100m バタフライ

北岡 1-45-4 (4位)

• 100m 背泳

寛 1-25-7 (5位)

• 200m 背泳

寛 3-01-9 (4位)

• 100m 平泳

宮下 1-30-4 (5位)

• 400m メドレーリレー

失格
寛、北岡、宮下、井上(優)

• 400m リレー

宮下、寛、枝澤、井上(優)
5-11-4 (4位)

• 総合

1位 武庫川女子大学
204点
2位 兵庫教育大学 34点
3位 関西学院大学 33点
4位 神戸大学 20点
5位 神戸外国語大学
19点
6位 甲南大学 9点

関西国公立戦

レベル的には、ちょうど神大にとっては良かった関西国公立も1日目を終え、京大とは46対24、しかも神船に3点も差をつけられ、阪大と同点の3位であった。特に200Br京大陣のワン・ツーフィニッシュの9点差、200Frの8点差などが印象に残った。2日目も得意のはずのMRで負け、100Frの8点差などで結局は、指定席の2位に終わった。だが、4継の4位、8継の3位など、個々以外の種目すべて京大に負け、改めて我々の弱さを思い知った。泳力のほかにも、応援の仕方も他校にひけをとり、昔の^{●●●}ハイソな神大はどこへ行ったんだ、と言われる次第で、盛り上げ方も下手であった。(当麻 記)

★ 関西国公立大学水泳競技大会

平成元年7月15日(土)、16日(日) 於 大阪府立大学屋外公認プール

〈男子〉

• 50m 自由形

井上(聡)(予) 27-0

(決) 27-6

中畑 (予) 27-3

(決) 27-1

田中 28-3

• 100m 自由形

井上(予) 1-00-5

(聡) (決) 1-00-0 (5位)

中畑 1-02-3

安居 1-06-5

• 200m 自由形

古谷 2-18-7

藤本(博) 2-20-2

• 400m 自由形

古谷(予) 4-55-7

(決) 4-47-7 (3位)

藤本(予) 4-57-0

(博) (決) 4-52-6 (4位)

柴田 5-27-7

• 100m バタフライ

小南(予) 1-05-3

(決) 1-03-1 (1位)

高岡(予) 1-06-9

(決) 1-07-4

中川 1-47-4

• 200m バタフライ

小南(予) 2-21-1

(決) 2-17-6 (1位)

高岡(予) 2-38-0

(決) 2-35-4

一越 失格 泳法違反

• 100m 背泳

小笠原(予) 1-09-8

(決) 1-08-0 (4位)

井上(予) 1-11-9

(達) (決) 1-10-4

• 200m 背泳

小笠原(予) 2-30-9

(決) 2-28-3 (4位)

井上(予) 2-36-3

(達) (決) 2-32-4 (6位)

• 100m 平泳

林 (予)1-16-8
(決)1-13-8 (2位)
笠田 (予)1-16-4
(決)1-15-9 (6位)
藤本(克) 1-18-8

• 200m 平泳

林 (予)2-48-7
(決)2-44-7 (3位)
笠田 (予)2-51-9
(決)2-50-9
藤本 (予)2-52-1
(克)
(決)2-51-4

• 200m 個人メドレー

東 (予)2-29-8
(決)2-23-2 (2位)
当麻 (予)2-35-7
(決)2-29-2 (5位)
村田 2-39-9

• 400m 個人メドレー

当麻 (予)5-31-8
(決)5-17-1 (3位)
東 (予)5-21-9
(決)5-20-1 (6位)
村田 5-52-5

• 400m リレー

当麻、東、小南、井上(聡)
4-02-4 (4位)

• 800m リレー

小南、東、井上(聡)、当麻
8-53-5 (3位)

• 総合

1位 京都大学 101点
2位 神戸大学 65点
3位 神戸商船大学 51点
4位 大阪府立大学 37点
5位 大阪大学 36点
6位 大阪市立大学 15点

<女子>

• 50m 自由形

枝澤 (予) 34-3
(決) 34-0 (5位)
北岡 37-9

• 100m 自由形

井上 (予)1-14-9
(優)
(決)1-15-7 (5位)
中山 1-26-6

• 200m 自由形

井上(優) 2-50-7
中山 3-09-0

• 100m バタフライ

枝澤 (予)1-48-4
(決)1-39-4 (4位)
北岡 (予)1-44-7
(決)1-41-0 (6位)

• 100m 背泳

寛 (予)1-27-1
(決)1-25-4 (5位)

• 200m 背泳

寛 (予)3-06-2
(決)3-04-7 (5位)

• 100m 平泳

宮下 (予)1-29-0
(決)1-27-9 (2位)
村本 1-56-9

• 200m 平泳

宮下 (予)3-14-9
(決)3-13-7 (4位)
村本 4-27-5

• 400m メドレーリレー

4-23-6 (6位)

• 200m リレー

井上(優)、北岡、枝澤、宮下
2-17-0 (6位)

• 400m リレー

5-10-6

• 総合

1位	京都教育大学	69点
2位	京都大学	39点
3位	兵庫教育大学	38点
4位	大阪府立大学	32点
5位	和歌山大学	24点
6位	神戸大学	21点

旧 三 商 大 戦

今年の三商大戦は、晴天の下、大阪市立大学プールで行われた。我々に課せられた目標は、「余裕で優勝すること」であったが……。

午前の部は競泳であった。前日までの強化練習のためか、全体的に覇気に欠けるところがあり、タイム的には平凡なものであった。しかし、それでも9種目中、8種目を制し、まずまずの滑り出しであった。

午後の部は水球である。市大には関ボロで負けている。この試合で関ボロの雪辱を果たすために、市大にだけはどうしても勝ちたかった。しかし……、結果は、関ボロに続く連敗であった。わずか1点差であったというものの、この試合での得点はすべて4回生によるものであり、これから神大を支えていかねばならぬ筈の2・3回生の得点がなかった事は、我々下級生がいかに、これまで4回生に頼っていたかということを示していた。この連敗により、神大の前に市大という壁ができたのを感じたのは、私だけではない筈である。かつて市大も、神大という壁を感じていた筈である。しかし今回、我々がその壁を破る立場に立たされてしまったのである。

結局、水球の方は一橋が優勝した。総合では800mリレーの結果において神大が優勝したものの、実際は、3校が横一線に並んだことになったといえる。

さて、三商大戦といえば、プールサイドコンバである。市大の必死の防御も虚しく、プールサイドにあるものは全て水面下に沈められていった。そして、そればかりか、図々しくも神大は私という置き土産まで残して去っていったのである。

来年は、競泳、水球、そしてコンバと、3拍子そろった神大でありたい。

(藤本克彦 記)

★旧三商大水上競技大会

平成元年7月23日(日)

於 大阪市立大学プール

<競泳>

• 100m 自由形

井上(聡) 1-00-22(3位)

中畑 1-03-82(4位)

• 400m 自由形

古谷 4-54-77(1位)

柴田 5-43-95(4位)

• 800m 自由形

藤本(博)10-04-87(1位)

片野 11-02-28(4位)

• 200m バタフライ

高岡 2-29-11(1位)

一越 3-54-91(6位)

• 200m 背泳

小笠原 2-30-25(1位)

井上(達) 2-42-68(2位)

• 200m 平泳

林 2-50-12(1位)

藤本(克) 2-51-91(2位)

• 200m 個人メドレー

東 2-39-86(1位)

井上(達) 2-56-07(4位)

• 400m メドレーリレー

小笠原、藤本(克)、高岡、

井上(聡)

4-40-85(1位)

• 800m リレー

古谷、東、井上、藤本(博)

9-09-41(1位)

• 総合

1位 神戸大学 83点

2位 大阪市立大学 61点

3位 一橋大学 42点

<水球>

神戸大	Q	大阪市立大
0	1	3
4	2	2
0	3	0
3	4	3
7	計	8

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| 1. 田中 | 6. 井上(達) | 11. 一越 |
| 2. 林(3) | 7. 小笠原(3) | 12. 城 |
| 3. 柴田 | 8. 古谷 | 13. 笠田 |
| 4. 村田(1) | 9. 安居 | |
| 5. 東 | 10. 下坂 | |

神戸大	Q	一橋大
1	1	4
0	2	2
2	3	2
3	4	4
6	計	13

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| 1. 田中 | 6. 井上(達) | 11. 一越 |
| 2. 林(3) | 7. 小笠原(1) | 12. 城 |
| 3. 柴田 | 8. 古谷 | 13. 笠田 |
| 4. 村田(1) | 9. 安居 | |
| 5. 東(1) | 10. 下坂 | |

関西インカレ

昨年2部優勝を果たし、今年は当然ながら1部での試合となったわけであるが、戦前から苦戦が予想された。その上、数人の主力を病気等のために欠き、2部落ちは確実に思われた。そのためこの試合での目標は、1部残留よりも、数日後に行われる全国国公立戦にむけての調整になっていた。

結果は、予想通りの2部降格であったが、その内容は、あまりにもひどいものであった。特に、主力を欠いた事もあるがリレー種目は悲惨であり、神大の層の薄さを痛感させられた。また、ベストを出した者もほとんどなく、全国国公立戦への不安も大きくなった。

国立のチームが1部で闘っていくためには、個人の得点を期待するよりは、やはりリレー種目でコツコツと点を重ねていくしかないと思う。そのためにはエース級の選手のレベルアップも大切であるが、底辺からのレベルアップが、今の神大には必要ではないだろうか。

(小笠原 記)

★ 関西学生選手権水泳競技大会

平成元年7月28日(金)・29日(土)・30日(日) 於 大阪プール

〈男子〉

• 50m 自由形

中畑 26-89
田中 28-04
城 32-71

• 100m 自由形

井上(聡) 1-00-19
中畑 1-00-68

• 200m 自由形

井上(聡) 2-15-39
是枝 2-46-05

• 400m 自由形

藤本(博) 4-52-20
古谷 4-53-67

• 1500m 自由形

古谷 19-18-78
藤本(博) 20-14-84

• 100m バタフライ

高岡 1-06-66

• 200m バタフライ

高岡 2-31-33

• 100m 背泳

小笠原 1-07-82
井上(達) 1-08-69
富村 1-22-07

• 200m 背泳

小笠原 2-28-60
井上(達) 2-33-61
富村 3-08-10

• 100m 平泳

林 1-13-36
笠田 1-17-33
藤本(克) 1-17-74

• 200m 平泳

林 2-44-61
笠田 2-46-33
藤本(克) 2-48-01

• 200m 個人メドレー

東 2-23-89
村田 2-36-23
中川 3-18-29

• 400m 個人メドレー

東 5-15-57
村田 5-45-22

• 400m メドレーリレー

小笠原、林、東、井上(聡)
4-24-97(6位)

• 400m リレー

井上(聡)、東、中畑、小笠原
3-58-17

• 800m リレー

井上(聡)、東、小笠原、古谷
9-03-23

• 総合(男子1部)

1位 同志社大学 131点
2位 近畿大学 79点
3位 大阪体育大学 59点
4位 天理大学 35点
5位 立命館大学 28点
6位 関西外国語大学
..... 16点
.....
8位 神戸大学 1点

<女子>

• 50m 自由形

枝澤 33-66
北岡 36-81
中尾 39-22

• 100m 自由形

井上(優) 1-14-23
中山 1-22-03
村本 1-32-24

• 200m 自由形

井上(優) 2-48-08
枝澤 2-54-17
中山 3-05-00

• 100m バタフライ

北岡 1-38-31

• 100m 背泳

寛 1-26-23

• 200m 背泳

寛 3-06-42

• 100m 平泳

宮下 1-27-97
村本 1-54-86

• 200m 平泳

宮下 3-13-64

• 400m メドレーリレー

寛、宮下、枝澤、井上(優)
5-41-31(6位)

• 200m リレー

井上(優)、北岡、宮下、枝澤
2-13-54

• 400m リレー

井上(優)、寛、宮下、枝澤
5-03-99

• 総合(女子1部)

1位 武庫川女子大学 151点
2位 天理大学 115点
3位 大阪体育大学 53点
4位 関西外国語大学 20点
5位 京都教育大学 6点
6位 関西学院大学 5点
7位 神戸大学 1点

全 国 国 立 戦

競泳面と水球面に別れた練習を始めて最初の全国国公立大会は、試合前日までの電車まで止めた両も無事やんだ。千葉県総合運動場で行われた。すでに時代遅れとなった習慣を思い切って捨て、新システムに切り変えた我々にとって、この大会の成功は、システムを軌道に乗せるためにも是非必要である！などと意気込んでみたものの、関西インカレからわずか3日の間隔、神戸—千葉間の移動による疲れ、加えて関ボロ以来、神大水泳部に流れていた、どんよりとした空気も手伝って、お世辞にも素晴らしいとはいえない結果に終わってしまった。

新システムが原因ではないにしろ、このままシーズンを終えることは、後に深刻な影響を与えることは間違いないと思われた。次の神大主催の近国で、必ずや好成績を残さねばなるまい。ここでふんばらないと、オフの練習、そして、次のシーズンにこれが響いてくるのは間違いないであろうと思われた。我々は背水の陣を敷かねばならなくなったのである。

PS. 今度の遠征では、井上達見隊長率いる水泳部員が、試合前日バスを乗り間違え、更に、そのことに終点まで気付かず、親切な運転手さんに「回送」で目的地まで送ってもらうという“バス・ジャック事件”を引き起こしたことを、ここに記しておきます。

(東 記)

★ 全国国公立大学選手権水泳競技大会

平成元年8月2日(水)・3日(木) 於 千葉県総合運動場

〈男子〉

• 50m 自由形

中畑 26-67
安居 29-51
中川 30-40

• 100m 自由形

中畑 59-97
井上(聡) 1-00-09
柴田 1-07-04

• 200m 自由形

藤本(博) 2-16-16
古谷 2-16-20
井上(聡) 2-16-95

• 400m 自由形

古谷 4-48-43
藤本(博) 4-50-12
片野 5-13-84

• 100m バタフライ

高岡 1-05-95

• 200m バタフライ

高岡 2-29-73

• 100m 背泳

小笠原 1-07-77
井上(達) 1-10-00
富村 1-24-18

• 200m 背泳

小笠原(予) 2-27-60
(決) 2-27-73
井上(達) 2-30-05

• 100m 平泳

林 1-13-66
笠田 1-15-63
三宅 1-26-99

• 200m 平泳

林 2-43-73
笠田 2-44-79
藤本(克) 2-48-69

• 200m 個人メドレー

東 2-27-08
藤本(克) 2-35-00
村田 2-35-92

• 400m 個人メドレー

東 (予) 5-09-88
(決) 5-10-51
村田 5-45-35

• 400m メドレーリレー

小笠原、林、東、井上(聡)
4-26-91

• 400m リレー

井上(聡)、東、中畑、小笠原
3-59-65

• 800m リレー

藤本(博)、井上(聡)、古谷、
高岡 9-14-38

• 総合

1位 鹿屋体育大学 89点
2位 筑波大学 77点
3位 金沢大学 33点
4位 東京学芸大学 22点
5位 新潟大学 13点
6位 京都大学 10点
:
10位 神戸大学 1点

<女子>

• 100m 平泳

宮下 1-28-81

市 大 戦

今年の市大戦は、六甲台プールで行われた。試合開始直前までプログラムができていないということで、試合は無事に進行するのだろうか、と心配していたが、予想に反して、うまくプログラムを消化していった。

試合の方であるが、競泳の部では全ての種目でコンスタントに得点をあげ、神大の圧勝であった。

一方、水球の部では、残念な事ではあるが、市大に完敗したと言わざるを得ない。市大が力をつけてきたのか、あるいは神大の力が相対的にダウンしているのか、一概に言えないが、どちらにしろ、後に課題を残す結果となった。

試合後のコンパは、プールサイドコンパとなった。昨年は、市大でやりたい放題やったので反撃が恐かったが、それほどひどいこともなかったので一安心であった。

最後になりましたが、御声援、御協力をいただいたOBの皆様方、本当にありがとうございました。

(城 記)

★ 大阪市立大学・神戸大学対抗水上競技会

平成元年8月13日(日)

於 神戸大学六甲台プール

<競泳>

• 100m 自由形

東 59-8 (2位)

城 1-12-8 (4位)

• 400m 自由形

藤本(博) 4-42-8 (1位)

井上(聡) 4-46-8 (2位)

• 200m バタフライ

高岡 2-30-5 (1位)

当麻 2-37-1 (2位)

• 200m 背泳

井上(達) 2-41-2 (1位)

富村 2-58-7 (3位)

• 200m 平泳

笠田 2-44-5 (1位)

家門 3-10-7 (3位)

• 200m 個人メドレー

青木 2-46-8 (1位)

安居 3-05-4 (3位)

• 400m メドレーリレー

井上(達)、笠田、当麻、東
4-38-6 (1位)

• 800m リレー

当麻、井上(聡)、東、藤本(博)
8-53-9 (1位)

• 総合

1位 神戸大学 92点
2位 大阪市立大学 59点

<水球>

神戸大	Q	大阪市立大
1	1	4
1	2	2
1	3	5
3	4	3
6	計	14

1. 笠田
2. 城
3. 当麻 (1)
4. 安居
5. 柴田 (1)
6. 青木 (1)
7. 西島 (2)
8. 染谷
9. 井上(達)
10. 下坂
11. 東 (1)
12. 藤本(克)
13. 一越

近 国 1989

晴れ渡る空の下、今年も近国の幕が切っておとされた。と言うのはクソである。なんと、今年の近国は、ポートアイランド・スポーツセンターの室内プールで行われたのである。このような会場を借りる事ができたのも、毎年2位という実績(?)が買われたためであり、ここからも今年の近国にかけ神戸大学学生課、いやいや神戸大学水泳部の意気込みが感じられる訳である。

今年は当番校ということで、上記の会場確保など多くの苦勞があった。特に電光掲示板の使用であ

る。全選手名をコース順に打ち込むのだが、のべ600人におよぶ選手名を打っているうち、なんで、こんなしとるんやろ、という気にもなった。しかし、いざ試合になると、電光掲示に歓声がわき、運営も、我らがOB石井さん、金さんをはじめとする兵庫水連の方々のおかげで、非常にうまくいった。決勝レースでは、決勝出場者があらかじめ選んだBGMで入場を行った。もう二度とできない体験であろう。

このようなすばらしい大会を行えたのは、一重にOB諸氏、兵庫水連の方々、学生課の方々、後輩諸君のおかげであり、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

例年になくまじめな原稿を書いていた、大会実行委員長の柴田でした。

(柴田 記)

★ 近畿地区国公立大学体育大会

平成元年8月21日(月)・22日(火) 於 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

<男子>

• 50m 自由形

中畑 (予)26-36
(決)26-41(2位)

中川 31-01

一越 32-07

• 100m 自由形

井上(聡)(予)59-16
(決)59-40

中畑 1-00-15

• 200m 自由形

井上(予)2-13-79
(聡)(決)2-10-68(4位)

染谷 2-25-97

安居 2-30-34

• 400m 自由形

藤本(予)5-01-25
(博)(決)4-49-39(4位)

染谷 5-21-48

• 800m 自由形

藤本(予)9-59-88
(博)(決)9-59-91(3位)

柴田 11-21-19

• 100m バタフライ

小南(予)1-04-29
(決)1-01-92(1位)

高岡(予)1-05-25

(決)1-05-09

城 1-36-99

• 200m バタフライ

小南(予)2-29-53
(決)2-17-47(2位)

高岡(予)2-33-02

(決)2-27-31(5位)

岡崎 2-48-87

• 100m 背泳

小笠原(予)1-08-71
(決)1-07-14(3位)

井上(予)1-10-28
(達)(決)1-09-35(5位)

富村 1-20-06

• 200m 背泳

井上(予)2-34-00
(達)(決)2-31-87(4位)

富村 2-55-98

山崎 3-54-89

• 100m 平泳

林 (予)1-13-68
(決)1-13-32(1位)
笠田 (予)1-15-72
(決)1-14-91(5位)
藤本(克) 1-18-09

• 200m 平泳

笠田 (予)2-47-92
(決)2-43-86(3位)
藤本 (予)2-49-24
(克) (決)2-46-67(4位)
三宅 3-11-88

• 200m 個人メドレー

東 (予)2-31-38
(決)2-23-20(2位)
当麻 (予)2-32-10
(決)2-27-41(4位)
家門 3-39-43

• 400m 個人メドレー

東 (予)5-17-83
(決)
当麻 (予)5-27-03
(決)
青木 6-06-96

• 400m メドレーリレー

(予)井上(達)、藤本(克)、高岡
井上(聡) 4-35-17
(決)小笠原、林、小南、東
4-19-29(1位)

• 200m リレー

(予)東、当麻、井上(聡)、
小笠原 1-47-44
(決)中畑、東、井上(聡)、
小笠原 1-45-05(3位)

• 800m リレー

(予)岡崎、小笠原、当麻、
東 9-19-91
(決)井上(聡)、東、藤本(博)
当麻 8-53-33(3位)

• 総 合

1位 京都大学 110点
2位 神戸大学 87点
3位 神戸商船大学 54点
4位 大阪大学 44点
5位 大阪教育大学 18点
6位 滋賀大学 9点
奈良教育大学 9点

<女子>

• 50m 自由形

北岡 (予)36-03
(決)36-11
中尾 38-25

• 100m 自由形

井上 (予)1-14-88
(優) (決)1-14-57(6位)
中山 1-21-05
中尾 1-34-30

• 200m 自由形

井上 (予)2-52-04
(優) (決)2-51-06(4位)

• 400m 自由形

中山 (予)6-18-49
(決)6-18-12(5位)

• 200m バタフライ

北岡 (決)3-53-71(6位)

• 100m 背泳

寛 (予)1-26-19
(決)1-25-13(3位)

• 200m 背泳

寛 (予)3-07-78
(決)3-02-32(5位)

• 100m 平泳
宮下 (予) 1-30-78
(決) 1-28-48 (2位)

• 200m 平泳
宮下 (予) 3-16-76
(決) 3-15-72 (3位)

• 400m メドレーリレー
寛、宮下、北岡、井上 (優)
(予) 5-50-17
(決) 5-51-78 (6位)

• 200m リレー
(予) 井上 (優)、北岡、寛
宮下
2-18-42

(決) 井上 (優)、北岡、枝澤
宮下
2-14-18 (5位)

• 400m リレー
井上 (優)、中山、寛、宮下
(予) 5-14-38
(決) 5-13-06 (6位)

• 総合
1位 京都教育大学 76点
2位 兵庫教育大学 52点
3位 京都大学 41点
4位 神戸大学 26点
5位 和歌山大学 26点
6位 滋賀大学 22点

関 ポ ロ Jr.

今回も前年に引き続きトーナメントで、名大を含む8大学と府立高専の9チームによって戦われたが、試合の日程は、9月2日・3日と例年になく早い開催であった。

6月のリーグ戦で予期せぬ大敗を喫し、水球チーム結成間もない関西学院にインカレへの切符を奪われ、5位に甘んじた我が神戸大学であったが、6月における主力メンバーがほとんど引退したためこのリーグ戦には、試合経験の浅い全くの新チームで臨んだ。

チーム内の世代交代、経験不足、個人レベルでの力の悪さなどのため、春までは個人の力を高めることを目標においており、関ポロJrは、その中間に位置する試合であった。従って、まだチームとしてのまとまりに欠けた状態で本大会に臨まざるを得なかったのである。

結果は下記の通りであるから、お解りいただけるかと思うが、率直に言って我々は、個人の技術、判断力、また、チームとしての総合力、どれをとっても見劣りのする状態であった。

当然ではあるが、我々の目標は、6月の関ポロである。

現在、神戸大学が、すっかりスミに追いやられた感のある関西学生水球の勢力図を再度書きかえるべく、我々は改めて捲土重来を期した。

(笠田 記)

★関西学生 Jr. 水球選手権

平成元年9月2日(土)・3日(日)

於 大阪市立大学プール

神戸大	Q	府立高専
3	1	2
2	2	1
3	3	2
2	4	1
10	計	6

1. 笠田
2. 柴田 (5)
3. 下坂
4. 東 (3)
5. 当麻
6. 井上(達)(1)
7. 西島 (1)
8. 青木
9. 安居
10. 藤本(克)
11. 富村
12. 中畑
13. 一越

神戸大	Q	大阪大
0	1	6
3	2	4
4	3	4
3	4	4
10	計	17

1. 笠田
2. 柴田 (4)
3. 下坂
4. 東 (3)
5. 当麻
6. 井上(達)(2)
7. 西島 (1)
8. 青木
9. 安居
10. 藤本(克)
11. 富村
12. 中畑
13. 一越

神戸大	Q	立命館大
2	1	3
1	2	4
2	3	3
5	4	3
10	計	13

1. 笠田
2. 柴田 (2)
3. 下坂
4. 一越
5. 当麻 (3)
6. 井上(達)
7. 西島 (2)
8. 青木
9. 安居
10. 藤本(克)
11. 富村
12. 中畑
13. 東 (3)

• 総合

- 1位 大阪大学
- 2位 大阪市立大学
- 3位 立命館大学
- 4位 神戸大学
- 5位 京都大学
- 6位 関西学院大学

現 役 自 己 へ

	自 由 形					
	50m	100m	200m	400m	800m	1500m
〈男子の部〉						
井上達晃						
笠田幸介						
柴田英之		1-05-7	2-32-5	5-25-4	11-19-0	21-29-3
当麻尚正		59-6	2-11-3	4-41-6		
中川篤俊		1-10-4				
東圭紀		57-3	2-10-9			
三宅正樹		1-20-7				
青木浩介						
一越健治	32-01	1-14-53				
井上聡	27-1	58-9	2-10-6	4-46-6		
小南裕明						
城一男	31-1	1-12-1				
染谷光裕		1-03-3				
高岡英一郎						
安居武彦		1-05-7	2-29-7			
山崎秀樹		1-19-8		6-17-8		
家門秀行						
下坂浩		1-07-2				
富村英三						
中畑寛之	26-36	59-97				
西島淳一		1-11-3				
藤本克彦						
藤本博之				4-48-7	9-44-5	19-10-6
〈女子の部〉						
笈朋子				6-08-7		
宮下静子	31-8	1-12-3				
村本由里子		1-30-3	3-54-7			
井上優子	33-3	1-14-2	2-48-0			
中尾幸子	38-2	1-32-4				
中山祥子	37-9	1-21-0	3-05-0	6-18-1		

ス ト ー 覧 表

バタフライ		背 泳		平 泳		個人メドレー	
100m	200m	100m	200m	100m	200m	200m	400m
		1-08-6	2-26-8				
				1-14-4	2-43-8		
1-41-6				1-38-6	3-29-5	2-59-9	7-14-5
1-03-9	2-25-3			1-17-3		2-27-4	5-17-1
				1-23-1	3-04-6		
1-06-2						2-20-9	5-06-1
				1-26-9	3-02-7	3-10-1	8-38-5
						2-44-5	6-01-6
				1-32-10			
1-01-4	2-17-0						
1-05-0	2-27-3						
		1-50-3					
				1-28-6	3-10-7		
		1-19-5	2-55-9				
				1-17-7	2-46-6	2-35-0	
		1-24-7	3-01-9			3-29-4	
1-21-8				1-27-5	3-12-6	2-55-2	
				1-54-86	4-27-5		

歴 代 10 傑 表

〈男子〉

• 100 m 自由形

1	後呂 忠詳	56-7(S)	S.61
		58-0(L)	62
2	川原田 貢	57-1(S)	57
		57-3(L)	59
3	東 圭紀	57-3(S)	63
4	金 一波	58-6(S)	56
		58-9(L)	57
5	浜川 広海	58-8	26
	杉山 和広	58-8(S)	53
7	吉田不二彦	58-9(S)	59
		59-8(L)	59
	井上 聡	58-9(L)	H. 1
9	浜田 昌己	59-2(S)	S.61
	奥村 直樹	59-2(S)	62
		59-7(L)	62

• 400 m 自由形

1	古谷 拓裕	4-36-0(L)	S.63
2	久保田勝己	4-37-4(L)	58
3	当麻 尚正	4-41-6(S)	H. 1
4	井上 聡	4-46-6(S)	1
5	川原田 貢	4-46-9(S)	S.57
6	藤本 博之	4-48-7(L)	H. 1
7	近藤 直明	4-49-7(S)	S.62
		4-54-0(L)	61
8	浦野 敏明	4-53-1(S)	59
		5-00-9(L)	58
9	中川 善雄	4-54-0(L)	60
10	上田 剛弘	4-54-3(S)	55
		5-02-8(L)	55

• 200 m 自由形

1	川原田 貢	2-07-5(L)	S.59
2	久保田勝己	2-08-5(S)	58
3	浜川 広海	2-09-0	26
4	後呂 忠詳	2-10-2(S)	62
5	井上 聡	2-10-6(L)	H. 1
6	古谷 拓裕	2-10-7(L)	S.62
7	東 圭紀	2-10-9(S)	62
		2-11-4(L)	62
8	当麻 尚正	2-11-3(S)	H. 1
9	郡 幸雄	2-12-4(S)	S.62
10	金 一波	2-13-8(S)	57
		2-16-5(L)	56

• 800 m 自由形

1	古谷 拓裕	9-36-8(L)	S.63
2	藤本 博之	9-44-5(S)	H. 1
		9-59-8(L)	1
3	久保田勝己	9-47-4(S)	S.56
		9-49-0(L)	57
4	近藤 直明	10-11-7(L)	60
5	中川 善雄	10-19-2(S)	60
		10-25-0(L)	60
6	山本 隆	10-22-1(S)	53
7	上田 剛弘	10-26-4(S)	51
8	浦野 敏明	10-33-2(L)	57
9	丸末 一之	10-36-3	51
10	松野 圭	10-38-0(L)	57

• 1500 m 自由形

1	古谷 拓裕	18-28-5(L)	S.63
2	久保田勝己	18-37-5(L)	58
3	藤本 博之	19-10-6(L)	H. 1
4	近藤 直明	19-20-1(L)	S.62
5	岡崎 憲之	20-01-	H. 1
6	中川 善雄	20-07-0(L)	S.60
7	浦野 敏明	20-08-3(L)	57
8	松野 圭悟	20-31-4(L)	57
9	上田 剛弘	20-40-0(L)	55
10	酒井 康司	20-55-0(L)	55

• 100 m バタフライ

1	小南 裕明	1-01-4(L)	S.63
2	当麻 尚正	1-03-9(L)	63
3	吉岡 宏之	1-04-0(L)	58
	坂田 純孝	1-04-0(L)	59
5	佐敷 定雄	1-04-8(L)	48
6	郡 幸雄	1-05-0(L)	60
	高岡英一郎	1-05-0(L)	H. 1
8	東 圭紀	1-06-5(S)	S.62
9	山本 隆	1-07-4(S)	54
		1-08-4(L)	53
10	古谷 拓裕	1-07-6(S)	62

• 200 m バタフライ

1	小南 裕明	2-17-0(L)	S.63
2	郡 幸雄	2-24-6(L)	60
3	当麻 尚正	2-25-3(L)	63
4	坂田 純孝	2-26-6(L)	59
5	高岡英一郎	2-27-3(L)	H. 1
6	佐敷 定雄	2-29-6	S.48
7	吉岡 宏之	2-34-0(S)	57
		2-35-9(L)	58
8	岡崎 憲之	2-34-6(L)	62
9	山本 隆	2-35-2(S)	53
		2-36-9(L)	53
10	浦野 敏明	2-35-6(L)	56

• 100 m 背泳

1	徳永 守	1-06-2(S)	S.62
		1-07-9(L)	60
2	小笠原朝隆	1-06-6(L)	63
3	杉山 和弘	1-07-7(S)	53
		1-08-4(L)	53
4	吉田不二彦	1-08-6(L)	59
	井上 達晃	1-08-6(L)	H. 1
6	坂田 純孝	1-08-7(S)	S.58
7	川原田 貢	1-09-6(S)	59
8	浅川 明弘	1-10-3(S)	62
		1-11-(L)	
9	太田 雅彦	1-10-9(S)	56
10	田淵 五郎	1-11-8(S)	27

• 200 m 背泳

1	小笠原朝隆	2-26-2(L)	S.63
2	井上 達晃	2-26-8(L)	63
3	徳永 守	2-29-7(L)	60
4	坂田 純孝	2-30-4(S)	56
5	吉田不二彦	2-31-2(S)	58
6	杉山 和弘	2-34-1(S)	54
		2-34-2(L)	53
7	木村多加緒	2-34-8(S)	43
		2-37-0(L)	43
8	酒井 正人	2-35-2(S)	52
9	浅川 明弘	2-36-8(L)	62
10	竹本 和広	2-40-2(L)	62

• 100 m 平泳

1	後呂 忠詳	1-10-5(L)	S.61
2	林 均	1-12-9(S)	62
		1-13-3(L)	H. 1
3	長崎 真人	1-13-6(S)	S.57
		1-14-0(L)	58
4	鈴木 俊彦	1-14-2(S)	42
		1-14-7(L)	42
5	笠田 幸介	1-14-4(L)	H. 1
6	慈幸 弘樹	1-15-3(S)	S.53
		1-16-8(L)	53
7	浦野 敏明	1-15-6(S)	58
8	守沖 敦	1-16-4(L)	63
9	池辺 正雄	1-16-5(L)	56
10	山野 和則	1-17-1(S)	55

• 200 m 個人メドレー

1	東 圭紀	2-20-9(L)	S.63
2	当麻 尚正	2-27-4(L)	H. 1
3	浦野 敏明	2-29-5(L)	S.59
4	後呂 忠詳	2-31-0(L)	60
5	原田久富美	2-32-7(L)	60
	小笠原朝隆	2-32-7(L)	63
7	慈幸 弘樹	2-33-0(S)	52
		2-35-6(L)	53
8	古谷 拓裕	2-33-2(L)	61
9	坂田 純孝	2-34-0(L)	58
10	富岡 洋三	2-34-2(S)	56
		2-35-2(L)	55

• 200 m 平泳

1	後呂 忠詳	2-37-9(L)	S.60
2	長崎 真人	2-40-5(L)	58
3	林 均	2-43-6(L)	H. 1
4	笠田 幸介	2-43-8(L)	1
5	平石 康	2-45-3(S)	S.52
6	鈴木 俊彦	2-45-5	43
7	有利 英明	2-45-6	62
8	藤本 克彦	2-46-6(L)	H. 1
9	慈幸 弘樹	2-49-2(S)	S.53
		2-52-5(L)	53
10	山野 和則	2-50-0(S)	57
		2-50-1	57

• 400 m 個人メドレー

1	東 圭紀	5-06-1(L)	S.63
2	当麻 尚正	5-17-1(L)	H. 1
3	浦野 敏明	5-20-3(L)	S.59
4	古谷 拓裕	5-20-7(L)	63
5	山本 隆	5-25-9(S)	53
		5-43-6(L)	53
6	村田 功	5-34-6(S)	62
7	久保田勝己	5-38-4(S)	56
8	原田久富美	5-40-1(S)	60
9	坂田 純孝	5-40-7(L)	57
	三好 岳	5-40-7(L)	60

• 400 m メドレーリレー

1	小笠原、林、小南、東	4-19-29	H. 1
2	小笠原、林、小南、東	4-20-6	S. 63
3	小笠原、後呂、郡、浜田	4-21-1	61
4	徳永、後呂、郡、川原田	4-21-6	60
5	小笠原、後呂、郡、奥村	4-22-1	62

• 400 m リレー

1	川原田、浜田、原田、後呂	3-56-4	S. 60
2	川原田、吉田、浜田、後呂	3-57-0	59
3	東、奥村、井上、小南	3-57-1	63
	川原田、浜田、島崎、後呂	3-57-1	60
4	奥村、郡、東、後呂	3-57-4	62
5	浜田、原田、郡、後呂	3-57-7	61

• 800 m リレー

1	東、古谷、当麻、小南	8-52-9	S. 63
2	井上(聡)、東、藤本(博)、当麻	8-53-3	H. 1
	小南、東、井上(聡)、当麻	8-53-5	1
	東、古谷、当麻、井上(聡)	8-53-5	S. 63
	当麻、井上(聡)、東、藤本(博)	8-53-9	H. 1
3	浦野、坂田、後呂、川原田	8-56-5	S. 59
4	後呂、郡、古谷、東	8-56-7	62
	東、郡、古谷、後呂	8-56-8	62
5	浦野、金、久保田、川原田	8-57-2	57

〈女子〉

• 100 m 自由形

1	川上 景子	1-07-9(L)	S.61
2	村上 美和	1-10-7(L)	60
3	坂東 美枝	1-11-7(S)	56
4	宮下 静子	1-12-3(S)	H. 1
5	木村 典子	1-12-9(L)	S.59

• 200 m バタフライ

1	坂東 美枝	2-44-7(L)	S.57
2	川上 景子	3-00-7(S)	60
3	大野 智恵	3-26-9	
4	嶋田 陽子	3-32-4(L)	55
5	石本日和子	3-44-9	

• 200 m 自由形

1	川上 景子	2-26-4(L)	S.62
2	坂東 美枝	2-32-6(S)	56
3	山口 敦与	2-37-4(L)	60
4	土井 紀子	2-41-5(S)	
5	木村 典子	2-44-2(L)	59

• 100 m 背泳

1	村上 美和	1-16-8(L)	S.61
2	坂東 美枝	1-21-7(S)	58
3	加地 恵	1-24-7(L)	61
	寛 朋子	1-24-7(L)	H. 1
5	石本日和子	1-25-5(S)	S.55

• 400 m 自由形

1	川上 景子	5-15-2(L)	S.60
2	坂東 美枝	5-18-5(S)	56
3	山口 敦与	5-28-7(L)	60
4	土井 紀子	5-45-0(S)	
5	桑本 万里	5-54-3	

• 200 m 背泳

1	村上 美和	2-48-4(L)	S.63
2	坂東 美枝	2-58-6(S)	56
3	寛 朋子	3-01-9(L)	H. 1
4	加地 恵	3-04-8(L)	S.61
5	石本日和子	3-10-6(S)	

• 100 m バタフライ

1	坂東 美枝	1-14-3(S)	S.57
2	川上 景子	1-20-9(L)	60
3	宮下 静子	1-21-8(S)	H. 1
4	大野 智恵	1-25-6(S)	S.52
5	石本日和子	1-26-6(S)	55

• 100 m 平泳

1	宮下 静子	1-27-5(L)	S.63
2	松井 玲子	1-30-3	
3	川島えみこ	1-32-0(S)	56
4	国本 温代	1-33-1(S)	
5	坂東 美枝	1-33-8(S)	56

• 200 m 平泳

1	川上 景子	3-06-2(S)	S.61
		3-10-2(L)	60
2	宮下 静子	3-12-6(L)	63
3	川島えみこ	3-16-6	58
4	坂東 美枝	3-17-6(S)	
5	松井 玲子	3-20-3	52

• 400 m 個人メドレー

1	川上 景子	5-53-0(L)	S.62
2	坂東 美枝	6-04-0(S)	56
3	村上 美和	6-35-2(S)	61
4	石本日和子	6-52-5(L)	
5	嶋田 陽子	7-00-9(L)	55

• 200 m 個人メドレー

1	川上 景子	2-45-5(L)	S.60
2	坂東 美枝	2-54-5(L)	56
3	村上 美和	2-54-8(L)	61
4	宮下 静子	2-55-2(S)	63
		3-02-6(L)	63
5	石本日和子	3-07-5	

• 400 m メドレーリレー

1	村上、宮下、川上、枝澤	5-23-1	S.63
	村上、宮下、川上、枝澤	5-26-9	63
	村上、宮下、川上、枝澤	5-27-2	63
	村上、宮下、川上、枝澤	5-27-5	63
2	村上、山口、川上、木村	5-31-1	60
3	加地、三住、坂東、木村	5-35-6	59
4	村上、林、川上、加地	5-37-7	61
	村上、三住、川上、山口	5-38-8	60
	村上、宮下、川上、枝澤	5-39-4	63
5	石本、国本、坂東、木村	5-40-0	57

• 200 m リレー

1	木村、山口、村上、川上	2-08-3	S . 60
2	宮下、枝澤、村上、川上	2-08-6	63
	宮下、枝澤、村上、川上	2-09-1	63
3	川上、村上、加地、林	2-09-8	61
	宮下、枝澤、村上、川上	2-10-0	63
	加地、山口、村上、川上	2-10-6	60
4	村上、川上、加地、枝澤	2-11-8	62
	村上、山口、枝澤、川上	2-11-9	62
	川上、村上、林、山口	2-13-4	60
5	井上(優)、北岡、宮下、枝澤	2-13-5	H . 1

• 400 m リレー

1	川上、村上、山口、木村	4-45-1	S . 60
2	川上、村上、加地、林	4-50-1	61
	村上、加地、山口、川上	4-51-8	60
3	宮下、枝澤、村上、川上	4-53-1	63
	宮下、枝澤、村上、川上	4-53-4	63
	宮下、枝澤、村上、川上	4-58-0	63
4	村上、川上、加地、枝澤	4-59-9	62
	林、加地、村上、川上	5-01-6	60
	宮下、枝澤、村上、川上	5-02-5	63
	川上、村上、加地、枝澤	5-03-7	62
5	井上(優)、寛、宮下、枝澤	5-03-9	H . 1

凌 泳 会 会 則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 (名 称) 本会は凌泳会と称する。
- 第 2 条 (事 務 局) 本会は事務局を神戸市灘区六甲台町神戸大学に置くこととし、宛名は同大学学生課気付「凌泳会」とする。
- 第 3 条 (目 的) 本会は会員相互の連絡と親睦を図ると共に、神戸大学水泳部の発展に寄与することを目的とする。
- 第 4 条 (事 業) 本会は前条の目的を達成する為に下記の事業を行なう。
1. 会誌「凌泳」の発行
 2. 会員相互の連絡
 3. 定例総会及び各種の親睦会合
 4. 神戸大学水泳部発展の為の指導及び援助
 5. その他、本会の目的を達成するに必要な事項
- 第 5 条 (会則の改廃) 本会則の制定及び変更は総会の決議によって行なう。

第 2 章 会 員

- 第 6 条 (会 員) 本会の会員を分けて正会員、特別会員、準会員及び在学会員とする。
- 第 7 条 (正 会 員) 正会員とは、次のものを云う。
- 国立神戸高等商業学校、国立神戸商業大学、神戸経済大学、同附属経営学専門部、神戸大学 以上の諸学校に於て在学中水泳部に所属したもの。
- 第 8 条 (特 別 会 員) 特別会員とは、次のものを云う。
1. 前条の諸学校で水泳部々長及び副部長であった者、及び現在ある者
 2. その他、総会の決議によって推薦した者
- 第 9 条 (準 会 員) 準会員とは、前 2 条に該当する者以外の者で神戸大学水泳部と行動を共にし、その活動に協力した者の内、本人が入会を希望し、且つ在学会員より推薦のあった者を云う。
- 第 10 条 (在 学 会 員) 在学会員とは、次のものを云う。
- 現在、神戸大学々生で水泳部に所属する者
- 第 11 条 (会 費) 1. 正会員は、会費として年額 8,000 円を当会へ納入する。但し、卒業後 44 年を経過した者は会費を免除する。

2. 準会員は、会費として正会員の半額を当会へ納入する。
3. 会員相互間で結婚した場合は、夫婦で年額 8,000 円を当会へ納入する。

第 3 章 役 員

第 12 条 (役 員) 本会に次の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	2 名
監 事	若干名
幹 事 長	1 名
本 部 幹 事	若干名
支 部 幹 事	若干名
運 営 委 員	若干名

第 13 条 (改 選) 役員の変更は、総会の決議によって行なう。

第 14 条 (任 期) 役員任期は 1 年とし、再選を妨げない。

第 15 条 (会 長) 会長は本会を代表し、且つ統轄する。

第 16 条 (副 会 長) 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。

第 17 条 (監 事) 監事は、本会の会務及び会計を監査する。

第 18 条 (幹事長及び本部幹事) 幹事長及び本部幹事は会長、副会長を補佐し、総括的会務の執行に当たる。

第 19 条 (支 部 幹 事) 支部幹事は、各支部の事務を執行すると共に、本部の諸活動に協力する。

第 20 条 (運 営 委 員) 運営委員は会の円滑な運営を行う為に会費の徴収の促進をはかる。

第 4 章 総 会

第 21 条 (招 集) 総会は、少なくとも 2 週間以前に会議の目的を明らかにした通知を以って会長がこれを招集する。

第 22 条 (時 期) 総会は、毎年 5 月に開催するものとし、臨時総会は、必要に応じて招集する。

第 23 条 (議 長) 総会の議長は、会長がこれに当たる。

第 24 条 (議 決) 総会の決議は、出席正会員の過半数を以って決する。但し、当該議事につき書面を以ってあらかじめ意思を表示したものは出席とみなす。

第5章 会 計

第25条（経 理） 本会の経理は、会費・寄付金及びその他の収入によって賄う。

第26条（決 算） 本会の収支決算については、会計の監査を経た上、春季総会に於て報告し、その承認を受ける。

第27条（期 間） 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第6章 凌泳の送付

第28条 本会で会費を3年間滞納した者には「凌泳」の送付を停止する。但し、特別の事情がある者（海外駐在員等）は除くものとする。

第7章 雑 則

第29条 本会則は、昭和61年5月29日より発効する。

付記（退会者の取扱について）

昭和57年度総会において下記のとおり決定した。

文書その他の方法で退会の意思を表明した者は退会を認めることとし、その事実を明確にする為、名簿の最後に退会者欄をもうける。

凌 泳 会 役 員 名 簿

会 長	小 山 賢之助(昭7学)	
副 会 長	吉 野 榮(昭15学)	山 口 宗 樹(昭16学)
監 事	伊 藤 英 二(昭13学)	三 宅 林(昭21学)
幹 事 長	岡 田 重 義(昭37営)	
幹 事	富 岡 道 雄(昭31営)	
	上 田 剛 弘(昭56営)	
会計担当幹事	山 本 隆(昭57経)	
凌泳編集幹事	石 井 義 章(昭27経)	
支 部 幹 事		
(関 東)	支部長	山 口 宗 樹(昭16学) 吳 竹 正 人(昭59法) 佐 敷 定 雄(昭49農) 鈴 木 正 弥(昭39経) 浦 野 敏 明(昭60営)
(中 部)	支部長	井 上 隆 史(昭37営)
(中 国)	支部長	大 内 義 仁(昭14学)
(四 国)	支部長	中 村 市 治(昭15学)
(九 州)	支部長	印 藤 勝 美(昭18学)
(関 西)	支部長	吉 野 榮(昭15学)
	京 都	柳 本 正 雄(昭37営)
	阪 神	橋 本 力(昭30工) 富 岡 道 雄(昭31営)
	姫 路	山 口 仁 郎(昭32営)
運 営 委 員		三 宅 林(昭21学) 石 井 義 章(昭27学) 富 岡 道 雄(昭31営) 岡 田 重 義(昭37営)

物 故 会 員

氏 名	卒業年次(回)	氏 名	卒業年次(回)
(特別会員)		田 川 亮 一	3 22
藤 井 正太郎	水泳部顧問	阪 本 豊 一	3 22
多 田 徳 雄	体育教官 //	作 田 耕 三	3 22
小 川 忠 蔵	教授 水泳部部长	白 井 儀 三	3 22
北 村 五 良 (大6高)	教授 //	東 光 武 三	4 23
古 林 喜 楽 (大14高)	教授 //	尾 上 長三郎	4 23
山 田 幸 男	教授 //	三 吉 吉 郎	6 25
田 口 寛 治	教授 水泳部副部长	川 西 武 雄	7 26
(正会員)		太 田 清	7 26
小笠原 房 穂	10 15	土 肥 駒次郎	昭 7高26
白 山 源三郎	10 15	鈴 木 栄三郎	7学 1
中 村 精 一	10 15	鍵 本 芳 次	8 2
天 野 俊 一	10 15	熊 野 利 夫	8 2
加 納 茂	11 16	小 西 熊 雄	9 3
野 田 曾 一	11 16	糸 川 義 男	10 4
国 本 幸 一	12 17	片 山 四 郎	11 5
榊 原 零 一	12 17	野 村 弘	11 5
山 村 馨	12 17	栄 口 昌 二	12 6
山 下 虎 蔵	13 18	村 上 秀 造	13 7
中 村 信 三	13 18	高 橋 徹	13 7
吉 岡 喜 一	13 18	富 岡 喜一郎	13 7
鈴 木 不羈雄	14 19	岡 野 巖 (旧姓)土屋	13 7
繁 益 繁治郎	14 19	和 泉 真 弘	14 8
高 森 安 夫	14 19	松 本 勇	14 8
三 輪 嘉一郎	15 20	福 永 拓 造	14 8
高 田 寿 三	15 20	新 原 拓 郎	15 9
大 谷 親之輔 (旧姓)井関	昭 2 21	尾 原 芳 行	16 8
大 島 勝 利	2 21	部 坂 克 夫	16 10
中 村 毅	2 21	恩 地 正 伍	16 10
浅 野 猛 雄	3 22	鈴 木 啓 介	16 10

井上正平	16 11	伊藤一郎	21 16
柏木慶三	16 11	斉藤嘉一郎	21 16
稻垣 憲	16 11	鈴木富夫	25学20
山口八郎	17 12	衣川 昭	24専 1
池田勲治	18 13	中島 功	28経 1
熊野泰巳	18 13	今井 彰	30法 3
前田礼之	19 14		

平成元年度 物故者 吉岡 喜一(平1・12・30) 三吉 吉郎、熊野 泰巳(平1・11・11)

退会者

(本人の希望により退会された方です。氏名の次の数字は卒業年次・回生・退会年次を示す。)

吉田隆喜	昭16・学11・昭58
稲木俊男	昭17・学12・昭57
岩永威	昭23・学18・昭57
小平喜一郎	昭26・学21昭57
石尾嘉嗣	昭24・専1・昭57
渋谷俊昭	昭30・B3・平2
山口尚彦	昭40・T13・昭59
天野孝司	昭51・A24・昭57
松本克江	昭55・P28・昭61
松本幸恵 旧(友近)	昭58・準会員・昭61

商 神

1. 商神彩なす翹をあげて
靈杖遙に東を指せば
靈しき果実は雲間を漏りて
秋津島根に落つとぞ見えし
所はここぞ菊水かおる
湊河原の近きほとりに
かく伝わりし天のさとしも
人はさとらで幾年か経ぬ
2. 神の息吹のこもりて成りし
靈果いかで地に朽つべき
豊栄のぼる朝日のかげに
八州の外の潮風吹きて
いつしか催す気運に乗じ
わが学校ぞ世に生まれたる
眠る 商界夢さますべき
使命は天の授けし所
3. 此処摩耶の山六甲の峰
連り互る山ぶところに
数の若鷹はぐくまれ居て
静かにうかぶ雲の行きかい
朝妙なる琴のひびきは
敏馬の浜に松を吹く風
夕やさしき舞の姿は
茅渚の浦曲に白帆行く影
4. 希望に満てる春の潮の
寄せてはかえす清き渚や
熱誠もゆる夏の盛りを
いたわる風の葦合の里
須磨や明石をかけて照るらん
月には物のあわれをぞ知る
冬は凍たる後に嵐
奔馬空行く勢示す
5. 天れ山水の秀麗の気は
偉人傑士を起たしむとかや
天の使命を胸に収めて
清き自然に抱かれながら
筋骨鍛え智徳を研く
切磋琢磨の三年の春秋
養い得たるうつ勃の意気
抱負を語れや干余のおのこ
6. 金歌無欠の三千余年
かがやく光は剣の誓
心はおなじ大和男子の
我等は牙幢を執って起ちなん
日出ずる旗を高くかざして
日入らぬ国と手を携えて
目ざす平和の戦の場に
匂う御国の花ぞ咲かせむ
7. 雄飛の時ぞとねぐら離れて
野に立出ずる蒼鷹幾羽
爪も研ぎぬ力も足りぬ
尋にも余るつばさを張れば
枝の百鳥皆おそれ伏す
扶揺万里の風を起して
おのが向々東に西に
雲に突き入る勢見るや

商 神

しょうしん あやなす つばさをあげて
 れいじゅう はるかに ひがしをさせば
 くしき このみは くもまをもりて
 あきつ— しまねに おつとぞ みえしと
 こ—ろは ここぞき くすいか おるみ
 などが わらのち かきほとりに *rit*
 かくつ たわりし あめのさとしも
 ひとけさとらで いくとせかへぬ

宇宙を股に

神戸大学応援歌

作詩 古林 喜楽

作曲 竹内 平吉

勇壮に元気よく

まやろっこうに いだかれーて
みどりのそのに はなふりかゝる
ここおかのーべの わこうどーが
もゆるおもいを むねにひーめ
まなぶやゆうひのときをきし

三

燃ゆる紅葉たそがれて
宵開せまる山路を踏めば
真理に挑む若鷹が
ネオンの海を見おろして
いよ決意をかたむ哉

四

身に悩みわたる峯おろし
冬来りをば春近し
巢立つ晴れの日時せまる
翼ひろげて悠然と
宇宙を股に羽ばたかん

一

摩耶六甲に抱かれて
緑の園に花ふりかかる
ここ丘の上の若人が
燃ゆる思いを胸に秘め
学ぶや雄飛の時を期し

二

ヒマラヤ杉を背に受けて
茅渚の浦ゆ紀伊の山
右手に四国よ淡路島
左手にうかがふ金剛山
大らかにぞ抱負わく

栄光は常にわれらに

神戸大学応援歌

作詞 敷島富四雄

作曲 黒田 浩一

編曲 土橋 康宏

た て や た - て わ れ ら が え ら ば れ
 し せ ん し ほ こ う の た か き ほ ま れ に か け て た
 た め さ す し ょ う り の か む り
 ふ る え い さ ふ る - え ち か ら の か ぎ り か が や か ん え い
 こ う は う - ね に わ れ ら - に -
 こ う べ こ う べ こ う べ わ れ ら が こ う べ だ い が - く ゆ け

<p>三</p> <p>開けや聞け われらが選ばれし戦士 青春の若き血潮たぎらせ 相和するからどきの歌 振るえいざ振るえ意気いや高く 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>	<p>三</p> <p>征けや征け われらが選ばれし戦士 若人の大き誇を秘めて 胸深く制覇の誓 振るえいざ振るえ雄々しく強く 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>	<p>一</p> <p>起てや起て われらが選ばれし戦士 母校の高き誓にかけて ただ目指す勝利の栄冠 振るえいざ振るえ力の限り 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>
---	---	--

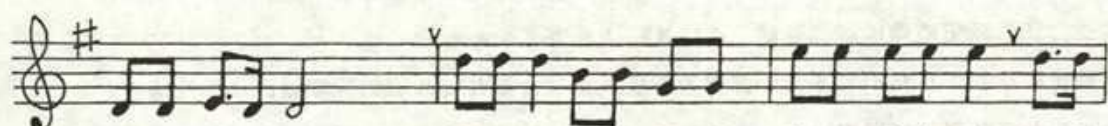
水 泳 部 歌

作詩 古林 喜楽

作曲 山田 貴彦



1. ま やろっこりに いだか ね て ここむこがおかの
 2. フリー プレスト バタフライ バックリレーに
 3. ああなつかしの すい えいぶ ろっこりだいのー



みず きよし ちぬのうらわを みおろしてしぶ
 ボロまでも りうえいけんじの いきたかしいざ
 プールべに つきみのえんでー およぎやめくる



き(しぶき) をあー げ る けん だーん じ
 や(いざや) ーきそ わ ん う て をーぶ し
 な(くるな) つまっ ー て い き りーた つ

一、摩耶六甲に抱かれて

ここ六甲ヶ丘の水清し
 茅渚の浦曲を見下して
 しぶきをあげる健男子

二、フリー プレスト バタフライ

バック リレーにボロまでも
 凌泳健児の意気高し
 いざや競わん腕を撫し

三、ああ懐しの水泳部

六甲台のプール辺に
 月見の宴で泳ぎ止め
 来る夏待っていきり立つ

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*  
編 集 後 記  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*

風薫るさわやかな季節。OB諸兄におかれましては益々の御活躍のことと存じます。今年もようやく皆様の御手元に「凌泳」をお届けすることができました。OB諸兄には御寄稿いただき誠にありがとうございました。次号も多数の御寄稿、宜しく願いいたします。

「凌泳」の編集にあたり、頭初は苦労ばかりで、つらく思われましたが、凌泳会を、そして水泳部をじっくりと考えることができ、こうした機会を得られた点で、「凌泳」の編集は大変有意義なものとなりました。

尚、御気付きの点や御意見がございましたら、水泳部まで御連絡下さい。特に勤務先変更、住所変更の際には御連絡下さいますよう宜しくお願いします。

最後になりましたが、多大の御尽力を賜りました石井凌泳編集幹事並びに御投稿下さいましたOB諸兄に感謝いたします。

凌泳編集責任者 村本 由里子

原 稿 募 集

「凌泳」誌は会員相互の連絡と親睦を図り、併せて現役部員とOBとの連繋を強化するための機関誌です。本誌をより楽しい物にするため多数の方々の御投稿をお願い致します。

原稿は400字詰め原稿用紙に横書きで5枚(2,000字)以内を原則とします。ワープロの場合は横書き一行40字に願います。

特に人名や固有名詞は正確、明瞭にお書き下さい。卒業年を付記する場合は、(昭19学)(昭24専)(昭30営)等の形に願います。新制学部の略記は、経、営、法、文、理、工、農、教、医とします。

原稿締切は毎年2月末日、発行は5月中旬です。

原稿の送り先は、神戸大学水泳部、または凌泳編集幹事宛てに願います。

以 上
(凌泳会編集幹事)